取扱説明書

FlexScan
P5071

カラープラズマディスプレイ

絵表示について

本書では以下のような絵表示を使用しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告
この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

⚠注意
この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容、および物的損害のみ発生する可能性がある内容を示しています。

△	注意（警告を含む）を促すものです。たとえば⚠は「感電注意」を示しています。
⃠	禁止の行為を示すものです。たとえば⃠は「分解禁止」を示しています。
●	行為を強制したり指示するものです。たとえば⏚は「アース線を接続すること」を示しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

本装置は、社団法人 電子情報技術産業協会（旧日本電子工業振興協会）の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

本装置は、平成6年10月3日付け通商産業省資源エネルギー庁公益事業部長通達、6資公部 第378号、家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

1. 本書の著作権は株式会社ナナオに帰属します。本書の一部あるいは全部を株式会社ナナオからの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
4. 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
5. 乱丁本、落丁本の場合はお取り替えいたします。販売店までご連絡ください。

もくじ

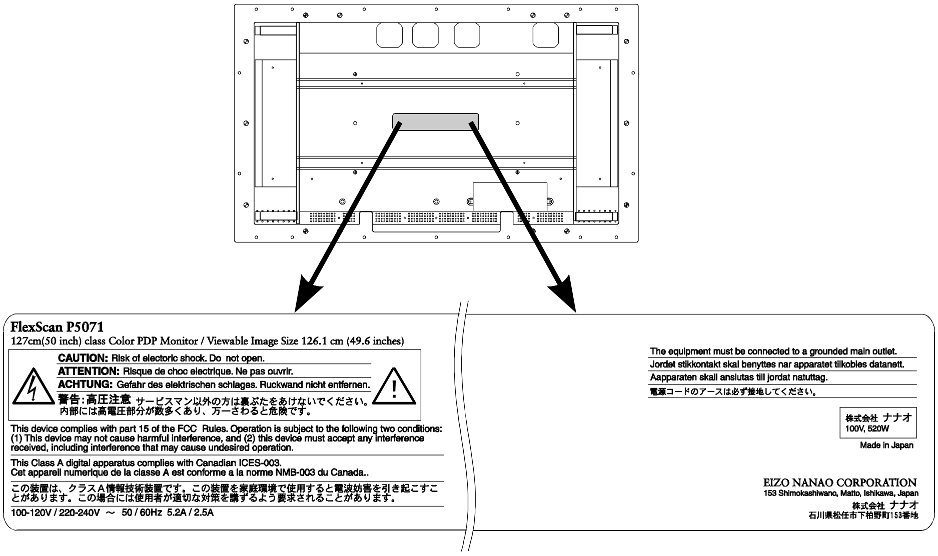
⚠使用上の注意

重要

- 本製品は、日本国内専用品として製造・販売されております。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。

- ご使用になる前には、「使用上の注意」および本体背面の「警告表示」をよくお読みになり、必ずお守りください。

【背面警告表示位置】



⚠警告

- **万一異常が発生したら、電源プラグをすぐ抜く**

  異常現象（煙、異音、においがするなど）が発生した場合、ただちに主電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。そのまま使用されると火災や感電、故障の原因となります。



電源プラグを抜く

- **裏ぶたを取り外したり、改造したりしない**

  本体内部には、高電圧や高温になる部分があり感電、やけどの原因となります。また、改造は火災、感電の原因となります。



分解禁止・改造禁止

- **修理は販売店またはエイゾーサポートに依頼する**

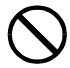
  お客様による修理は火災や感電、故障の原因となりますので、絶対におやめください。修理は専門のサービスマンがおこないます。



修理は販売店などに依頼する

- **異物を入れない**

  本体の通風孔から内部に金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電、故障の原因となります。



異物を入れない

- **液体を置かない**

本体内部に液体が入ると、火災や感電、故障の原因となります。 万一本体内部に液体をこぼしたり、異物を落としてしまった場合には、すぐに電源プラグを抜き、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。点検、修理の必要があります。

液体を置かない

- **安定した場所に置く**

本機の重さ（約47kg）に耐えられる丈夫で安定した場所に置いてください。不安定な場所に置くと転倒し、火災や感電、故障、けがの原因となります。万一、落とした場合は電源プラグを抜いて、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。

安定した場所に置く

- **次のような場所には置かない**

火災や感電、故障の原因となります。
- 湿気やほこりの多い場所。浴室、水場など。
- 油煙や湯気が直接あたるような場所や熱器具、加湿器の近く。
- 背面の通風孔をふさぐような設置をしない。

設置場所に注意

- **転倒防止の処置をする**

地震など非常時の安全確保と事故を防止するため、転倒防止の処置をおこなってください。けがや火災、感電の原因となります。
（転倒防止の処置については、p.16を参照ください。）

転倒防止の処置をする

- **プラスチック袋はお子様の手の届かないところに保管する**

本機を包装してあるプラスチック袋をかぶったりすると窒息の原因となります。


プラスチック袋で遊ばない

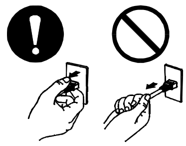
- **付属の電源コードを使用する**

付属のもの以外を使用すると火災や感電の原因となります。

付属の電源コードを使用する

- **電源プラグを抜くときはプラグ部分を持つ**

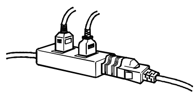
電源コードやケーブル類を抜くときは、コードを引っ張らずに必ずプラグの部分を持ってください。コード部分を引っ張るとコードが傷ついて、火災、感電の原因となります。


プラグ部分を持つ

- **誤った電源接続をしない**

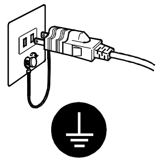
- 表示された電源電圧以外で使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。
- タコ足配線はしないでください。火災や感電の原因となります。

禁止


タコ足配線しない

● **電源コードのアースリードを接地する**

電源コンセントが二芯の場合、付属の二芯アダプタを使用し、安全および電磁界輻射低減のため、アースリード（緑）を必ず接地してください。アース接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前におこなってください。また、アースを外す場合は必ず、電源プラグを電源から抜いてからおこなってください。感電の原因となります。
二芯アダプタのアースリード線、および三芯プラグのアース部が、使用していないコンセントの電極に接触しないようにしてください。
なお、本製品は日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの漏洩電流に関するガイドライン（PC-11-1988）に適合しております。



アースを接地する

● **電源コードを傷つけない**

電源コードに重いものをのせたり、引っ張ったり、加工したり、束ねて結んだりすると電源コードが破損し、火災や感電の原因となります。電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、使用しないでください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



電源コードを傷つけない

● **雷が鳴り出したら、電源プラグやコードには触れない**

雷が鳴り出したら電源プラグや電源コード、ケーブル類には絶対に触れないでください。感電の原因となります。



接触禁止

● **乾電池の取り扱いに注意する**

- 分解や加熱をしたり、水の中に入れたりしないでください。破裂する恐れがあります。
- 電池の取り付け、交換は正しくおこなってください。正しくおこなわないと破裂する恐れがあります。
- 交換する場合は、2本とも新しい同じ種類のもの(単4乾電池LR03)をご使用ください。
- プラス(+)とマイナス(-)の向きを正しく入れてください。
- 電池を捨てるときはその地域の「電池回収箱」などへ入れてください。



電池の取り扱いに注意する

⚠注意

● 屋外や車載用に使用しない

本機は屋内専用仕様です。屋外や車載用に使用しないでください。火災や感電、故障の原因となることがあります。

屋外、車載使用禁止

● 通風孔をふさがない

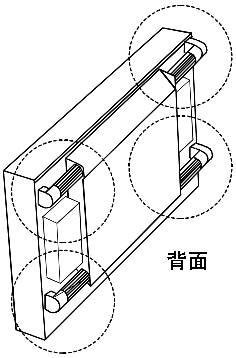
- 通風孔の上や周囲に本や書類など、ものを置かないでください。
- 通風孔にほこりをためないでください。（時々掃除してください。）
- 本機を風通しの悪い狭いところに置かないでください。
- 本機を横倒しや、逆さにして使わないでください。

上記のように通風孔をふさぐと、内部が高温になり、火災や故障、感電の原因となることがあります。

通風孔をふさがない

● 運搬のときには、以下のことに注意する

- 本機を移動するときは、電源コードやケーブル類を外してください。手足や周囲にケーブルやコードを引っ掛け、けがの原因となることがあります。
- 本機は重いので、持ち運びに注意してください。腰などを痛める原因となることがあります。持ち運びは、右図持ち手（4箇所）を持ち、必ず２人以上でおこなってください。
- ボタンやファスナーなどでパネル面を傷つけないようにしてください。また周囲のものにぶつけたりしないでください。破損したり、けがの原因となることがあります。



コードやケーブルは外して移動する

持ち運びに注意する

パネル面を傷つけない

● 本機の取り扱いに注意する

本機に使用しているパネルはガラス製品です。衝撃を加えると破損する恐れがありますので、取り扱いには十分注意してください。破損した破片などによりけがをすることがあります。

本機の取り扱いに注意する

● 本体の上に乗らない、重いものを置かない

倒れたり、落ちたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

上に乗らない・重いものを置かない

● 電源コード（コンセント、本体側）はしっかり差し込む

しっかり奥まで差し込まれていないと、火災や感電の原因となることがあります。

しっかり差し込む

● **濡れた手で電源プラグをさわらない**

感電の原因となることがあります。


濡れ手禁止

● **電源プラグの周囲にものを置かない**

異常現象が発生した場合、すぐ電源プラグを抜くことができるように、周辺にものを置かないでください。


禁止

● **クリーニングの際は電源プラグも抜く**

プラグを差したままで、クリーニングをおこなうと感電の原因となることがあります。


電源プラグを抜く

● **クリーニングの際には溶剤や薬品などを使用しない**

キャビネットやパネル面をいためるため絶対に使用しないでください。



使用禁止

● **電源プラグ周辺は定期的に掃除する**

ほこり、水、油などが付着すると故障や火災の原因となることがあります。


定期的に掃除する

● **本機を長期間使用しない場合には電源プラグも抜く**

安全および省エネルギーのため、本体の電源スイッチを切った後、電源プラグも抜いてください。


電源プラグを抜く

正しくご使用いただくために

- 本機は高圧変圧器、電動モーターなどの強磁気から離して設置してください。相互の干渉により、画面揺れやノイズが出る原因となることがあります。

- 長時間ディスプレイ画面を見続けると目が疲れますので、1時間に10分程度の休憩を取ってください。

- 画面を近くで見続けると目が疲れたり、気分が悪くなる恐れがあります。画面を見るときは3m以上離れて見て下さい。

パネルの焼き付きについて

- 長時間同じ画面を表示したままにしないでください。
  長時間同じ画面を表示していると、その部分の輝度が変化し、画面が焼き付くことがあります。画面が焼き付いてしまうと、完全に元に戻ることはありません。

- パネルを保護するために、以下の使用をおすすめします。
  * 「スクリーンガード機能」を定期的にご使用ください。(→参照 p.45)
  * ウインドウパターンなどの輝度が集中する画像を表示する場合は「パネルモード」のムービー1設定を選択しないでください。(→参照 p.41)

第1章 はじめに

このたびは当社カラープラズマディスプレイP5071をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

1-1. 特長

- 50 型高精細プラズマパネル搭載（1280 ドット x 768 ライン）

- 幅広い設置環境への対応
  * 本体の持ち運びに便利なハンドルつき（4ヶ所）
  * 床置き用ディスプレイスタンド付属
  * 壁掛け用のアタッチメント取り付けを準備（ディスプレイ背面）

- コンピュータと AV 機器の同時接続が可能
  * 映像コネクタ（INPUT1 ～ 4）と音声コネクタ（AUDIO 1 ～ 4）の同時切り換え可能
  * ピクチャーインピクチャーによる 2 画面同時表示可能

- コンピュータ信号 2 系統入力搭載（BNC/D-Sub）
  * 水平周波数 31.5 ～ 94kHz
  * 垂直周波数 50 ～ 85Hz（1600 ドット× 1200 ライン入力時 75Hz）
  * 表示解像度：1280 ドット× 768 ライン
  * オート調整機能、画面調整ソフト（付属）による容易な画面調整
  * ケーブル長による画面劣化の補正機能搭載（1.8m ～ 120m）
  * 焼き付き防止のスクリーンガード機能搭載

- 3 種のビデオコネクタを搭載し、各種 AV 機器接続に対応
  * 各国の信号（NTSC,NTSC4.43,PAL-M,PAL,SECAM）に対応

- 音声外部出力コネクタ及びスピーカー出力端子搭載

- リモコンによる簡単操作、各種調整 / 設定が可能

- リモコンにマウス機能搭載

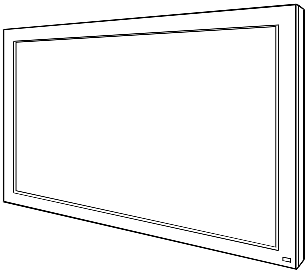
- 使用用途にあった輝度設定（コンピュータ用 動画用）パネルモードを 4 種搭載

- マルチスクリーン表示機能搭載

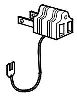
1-2. 梱包品の確認

以下のものがすべて入っているか確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがある場合は、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。

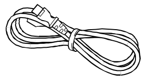
- 本体



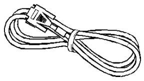
- 二芯アダプタ



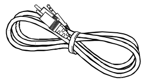
- 電源コード



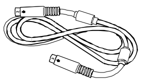
- 信号ケーブル（FD-C13）
  ：D-SUB ミニ 15 ピン
  -D-SUB ミニ 15 ピン



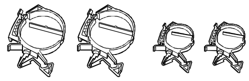
- 音声ケーブル（MD-C102）
  ：ステレオミニジャック -RCA



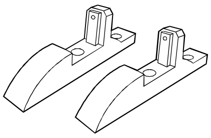
- PS/2 マウスケーブル（FD-C14）



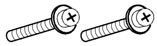
- ケーブル用クランプ
  大、小　各2個



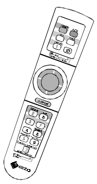
- スタンド 2個

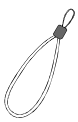


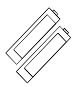
- スタンド取付ネジ
  （M8×40mm） 2本



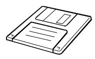
- リモコン、ストラップ
  リモコン用乾電池（単4形） 2本







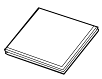
- EIZO PDP ユーティリティディスク
  （Windows®/Macintosh 共通）



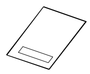
- 取扱説明書（本書）



- クリーニングクロス



- 保証書

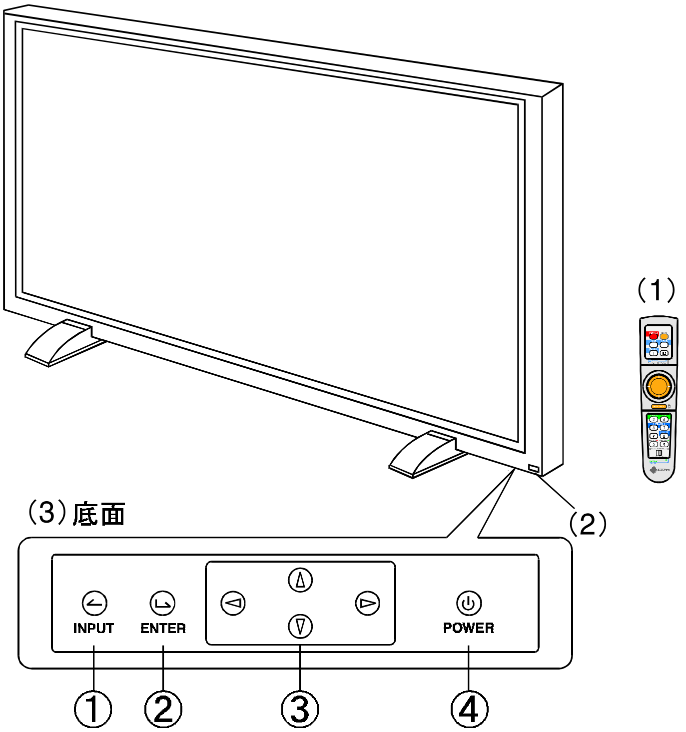


参考

- 梱包箱や梱包材は、本機の移動や輸送用に保管していただくことをおすすめします。

1-3. 各部の名称

前面



(1) リモコン※1

(2) リモコン受光部 / 電源ランプ※2

色	ディスプレイの状態
緑	オペレーション
黄	節電モード
黄（ゆっくり点滅）	電源スタンバイ（リモコンスタンバイ）状態

(3) 操作パネル※1（底面）

① 入力信号選択

② エンターボタン

③ コントロールボタン

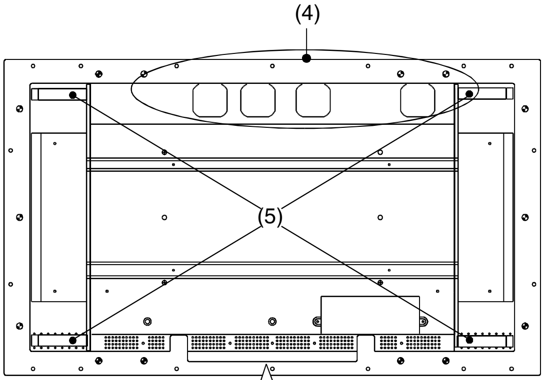
④ 電源ボタン※3

※1 調整や設定はリモコンでおこないます。操作パネルはリモコン操作ができない場合に使用します。（p.28 参照）

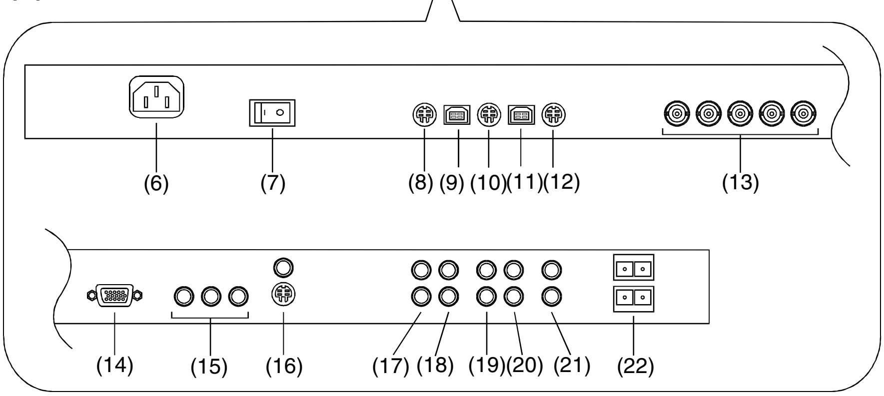
※2 オフタイマー設定時の電源ランプ表示についてはp.44を参照してください。

※3 主電源スイッチが入っている場合に電源をオン / オフします。

背面



底面



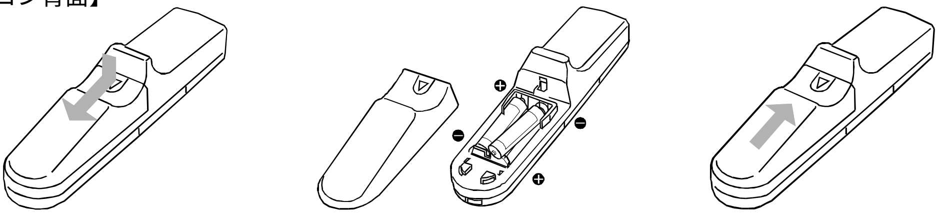
(4) ファン ×4ヵ所
(5) ハンドル部（運搬用持ち手）×4ヵ所
(6) 電源コネクタ
(7) 主電源スイッチ
(8) RS-232C端子※4
(9) USBアップストリーム（INTPUT1用）
(10) PS/2コネクタ（INPUT1用）
(11) USBアップストリーム（INPUT2用）
(12) PS/2コネクタ（INPUT2用）
(13)（INPUT1）BNC信号入力コネクタ
(14)（INPUT2）D-Sub信号入力コネクタ
(15)（INPUT3）Y,Cb(Pb)、Cr(Pr)信号入力コネクタ
(16)（INPUT4）（前部）Video信号入力コネクタ
（後部）S-VIDEO信号入力コネクタ
(17)（AUDIO1）音声入力（INPUT1用）
(18)（AUDIO2）音声入力（INPUT2用）
(19)（AUDIO3）音声入力（INPUT3用）
(20)（AUDIO4）音声入力（INPUT4用）
(21) 音声出力
(22) ステレオ音声出力端子

※4 コンピュータを使って本機を制御するときに使用します。
詳しくは、販売店または、エイゾーサポートにお問い合わせください。

1-4. リモコンの準備

電池の入れ方

【リモコン背面】



① フタを押しながら矢印の方向にスライドさせ、フタを取ります。

② 単4形電池を2本入れます。+、−方向を確認して入れてください。

③「カチッ」と音がするまでフタを閉めます。

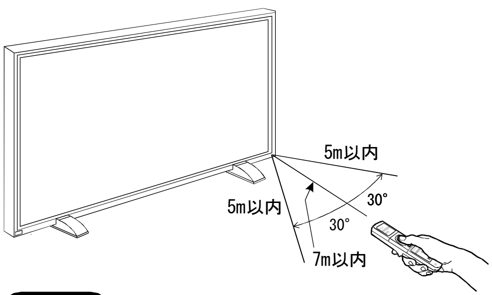
⚠注意

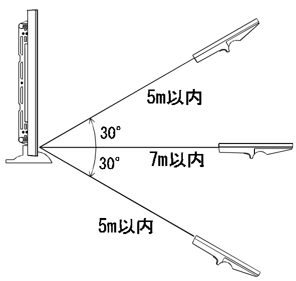
● **乾電池の取り扱いに注意する**

- 分解や加熱をしたり、水の中に入れたりしないでください。破裂する恐れがあります。
- 電池の取り付け、交換は正しくおこなってください。正しくおこなわないと破裂する恐れがあります。
- 交換する場合は、2本とも新しい同じ種類のもの(単4乾電池LR03)をご使用ください。
- プラス(+)とマイナス(-)の向きを正しく入れてください。
- 電池を捨てるときはその地域の「電池回収箱」などへ入れてください。

電池の取り扱いに注意する

リモコン受信範囲





注意点

- ディスプレイのリモコン受光部に向けて操作してください。またリモコン受光部とリモコンの間に障害物がないようにしてください。
- 本機の近くで電子点灯(インバータ)回路方式の蛍光灯を点灯するとリモコンが動作しないことがあります。このようなときは蛍光灯から離してご使用ください。

第2章 設置

⚠警告

● **安定した場所に置く**

本機の重さ（約47kg）に耐えられる丈夫で安定した場所に置いてください。不安定な場所に置くと転倒し、火災や感電、故障、けがの原因となります。万一、落とした場合は電源プラグを抜いて、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。

安定した場所に置く

● **次のような場所には置かない**

火災や感電、故障の原因となります。

- 湿気やほこりの多い場所。浴室、水場など。
- 油煙や湯気が直接にあたるような場所や熱器具、加湿器の近く。
- 背面の通風孔をふさぐような設置をしない。

設置場所に注意

● **転倒防止の処置をする**

地震など非常時の安全確保と事故を防止するため、転倒防止の処置をおこなってください。けがや火災、感電の原因となります。

転倒防止の処置をする

⚠注意

● **通風孔をふさがない**

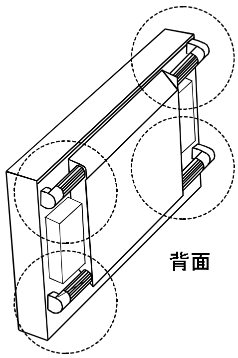
- 通風孔の上や周囲に本や書類など、ものを置かないでください。
- 通風孔にほこりをためないでください。（時々掃除してください。）
- 本機を風通しの悪い狭いところに置かないでください。
- 本機を横倒しや、逆さにして使わないでください。

上記のように通風孔をふさぐと、内部が高温になり、火災や故障、感電の原因となることがあります。

通風孔をふさがない

● **持ち運びに注意する**

本機は重いので、持ち運びに注意してください。腰などを痛める原因となることがあります。持ち運びは、持ち手（4箇所）を持ち、必ず2人以上でおこなってください。



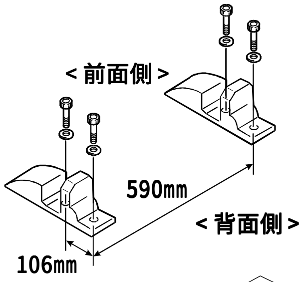
持ち運びに注意する

2-1. 付属スタンド取り付け方法

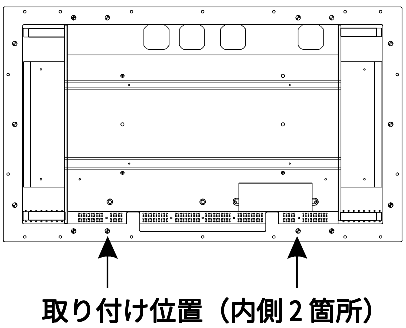
注意点

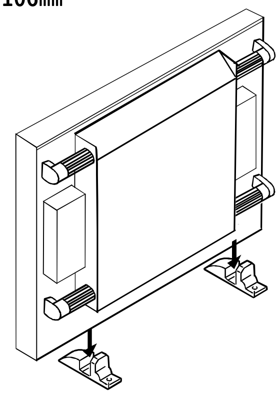
- 付属のスタンドは設置する場所に必ず固定してください。なお、スタンドを固定するためのネジは、固定場所に対応した市販品の M10 のネジをお買い求めの上ご使用ください。

1. 市販の M10 のネジで付属のスタンドを設置場所に固定します。（4 箇所）

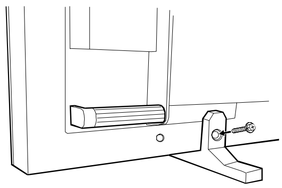


2. スタンドに本体を差し込みます。



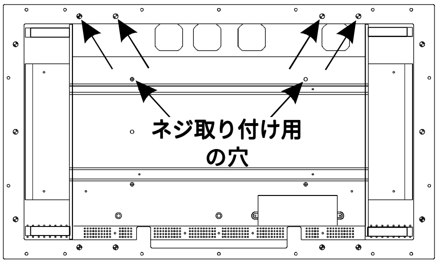


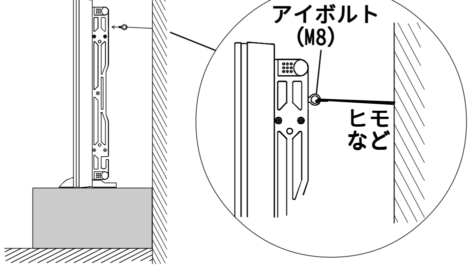
3. 付属のネジ（M8 × 40㎜）で本体を固定します。



4. 転倒防止の処置をしてください。

本体背面に転倒防止のためのネジを取り付けることのできる穴があります。市販のアイボルト(M8)をご用意いただき、本体に取り付け、丈夫なヒモなどで壁面にしっかりと固定してください。左右対称に1ヵ所ずつに取り付けることをおすすめします。なお、壁は確実に固定できる場所を選んでください。

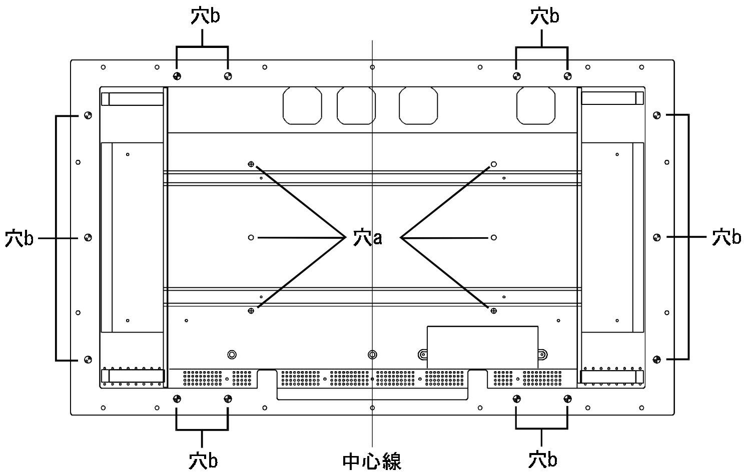


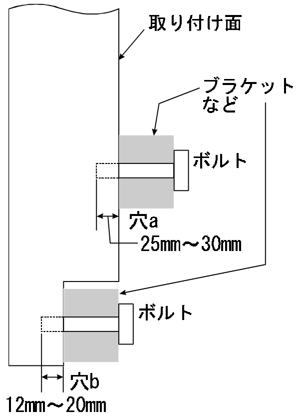


2-2. 壁面への取り付け

本機は壁面への取り付けなどに対応できるようボルト穴が施してあります。取り付けに使用するボルト穴は下図のとおりです。
（穴にかぶせてある、ホールリベットはコインなどで回すとはずれます。）

取り付け穴位置





取り付け条件

設置場所	本体にはガラスが使われていますので、凹凸やゆがみがない平面に取り付けてください。
強度	本体重量（約47kg）
取り付け箇所	中心線の左と右、上と下の少なくとも4ヵ所以上で固定。
ボルト穴a	25～30㎜
ボルト穴b	12～20㎜
ボルト	M8(P=1.25㎜) ＊これ以外は使用できません。

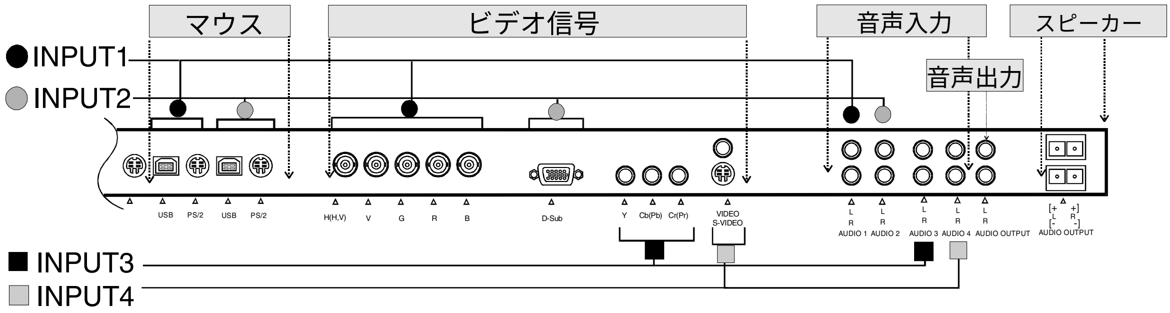
注意点

- 設置における事故や故障に対しては、当社は一切の責任を負いかねます。
  付属のスタンド以外の設置については、お買い上げの取扱店または専門業者にご相談ください。

第3章 接続手順

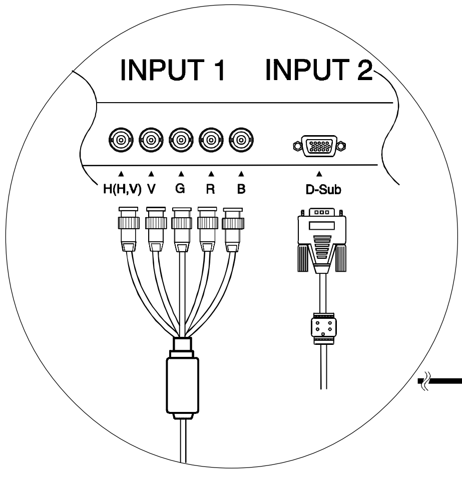
最大5種類の信号を同時に接続できます。入力信号にあったコネクタに接続します。ビデオ信号(INPUT1～4)と音声入力(AUDIO1～4)は連動しています。

コネクタ



3-1. コンピュータとの接続

コンピュータを接続する場合はINPUT1（BNC）またはINPUT2（D-Sub）に接続します。



信号ケーブル

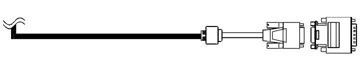


ビデオ出力コネクタ /
D-SUB15ピン（ミニ）

- DOS/V マシン
- Power Macintosh
  G3（Blue&White）/G4
- PC-9821 Xa7,9,10など
- PC98-NXシリーズ

信号ケーブル

M6A※
（オプション）



ビデオ出力コネクタ /
D-SUB15ピン

- Macintosh

（※Macintosh用アダプタ）

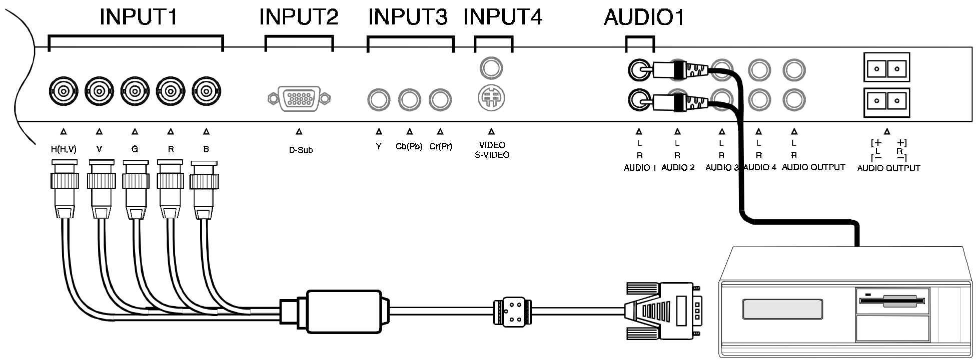
注意点

- ディスプレイとコンピュータの電源が入っていないことを確認してください。

1. **信号ケーブルを入力コネクタとコンピュータに接続します。**

接続後、各コネクタの固定ネジをしっかり回して確実に固定してください。

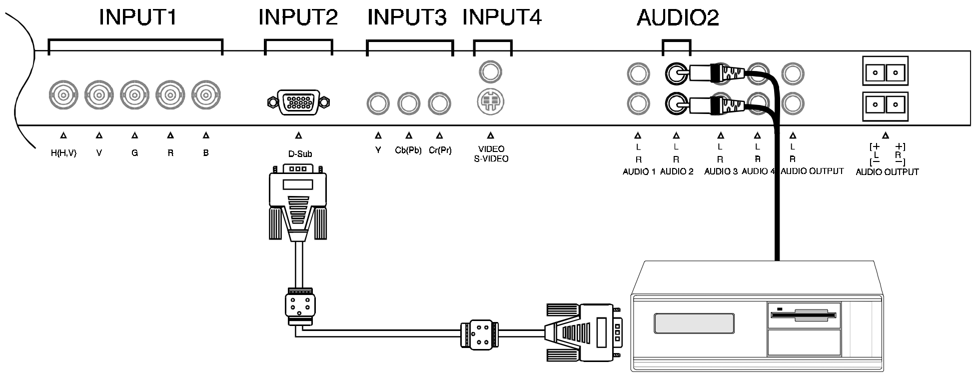
INPUT1（BNC 接続の場合）



参考

- 音声入力は、AUDIO 1に接続してください。
- 信号の種類によってH(H/V),V,G,R,Bに接続してください。
  （セパレート、H/V コンポジット、シンクオングリーン）
- 複数台使用する場合は、50 ページを参照してください。

INPUT2（D-Sub 接続の場合）



参考

- 音声入力は、AUDIO 2に接続してください。
- **ディスプレイのプラグアンドプレイ機能について**
  お使いのコンピュータがVESA DDCに対応したシステムの場合、本機をコンピュータに接続するだけで特別な設定をすることなく、最適な解像度、リフレッシュレートの設定が可能になります。

2. 電源コードを電源コネクタと電源コンセントに接続します。

⚠警告

- **電源コードは必ず付属のものを使用する**

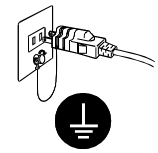
  それ以外の電源コードを使用すると、火災や感電の原因となります。



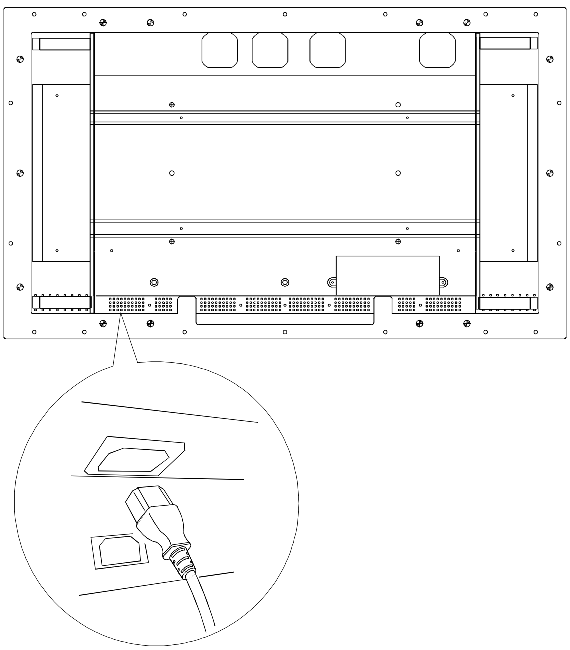
付属の電源コードを使用する

- **電源コードのアースリードを接地する**

  安全および電磁界輻射低減のため、アースは必ず接続してください。アース接続は、必ず電源プラグを電源につなぐ前におこなってください。外す場合は、先に電源プラグを電源から抜いてください。順番を間違えると感電の原因となります。



アースを接地する



3. 主電源スイッチを入れます。

ディスプレイの主電源を入れてから、コンピュータの電源を入れます。
電源ランプが点灯（緑色）します。

リモコンの「RGB」ボタンまたはディスプレイの「INPUT」ボタンで入力信号を選択すると画面が表示します。

使用後は、電源を切ってください。

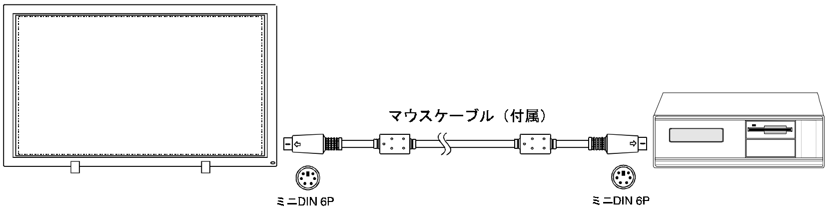
リモコンをマウスとして使用する

付属のマウスケーブルをコンピュータのマウスポートとディスプレイのマウスコネクタに接続するとリモコンをマウスとして使用できます。

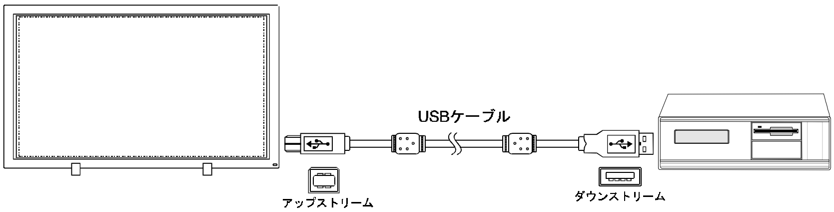
BNC 接続(INPUT1)の場合→ OUTPUT1
D-SUB 接続(INPUT2)の場合→ OUTPUT2

1. ディスプレイとコンピュータをマウスケーブルでつなぎます。

PS/2 ポートつきのコンピュータの場合



USB ポートつきコンピュータの場合



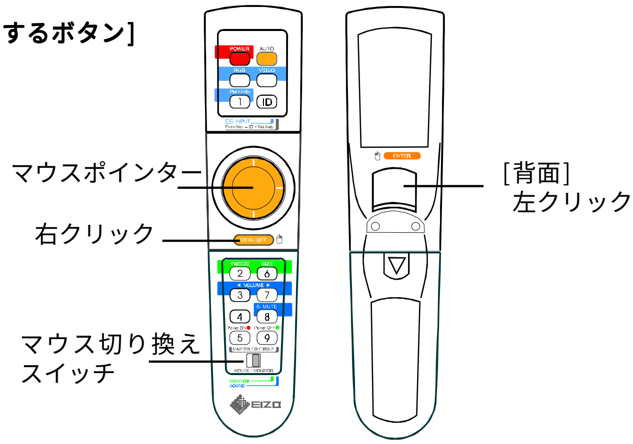
注意点

- PS/2 および USB コネクタ両方に接続している場合は、USB が優先します。
- ディスプレイのコネクタに直接マウスを接続できません。

2. リモコンの切り換えスイッチを「マウス設定」にします。

以下のボタンがマウス機能に切り換ります。

[マウスとして使用するボタン]



3-2.AV機器との接続

AV機器それぞれの映像出力に合わせてINPUT3またはINPUT4に接続します。

ビデオ入力	INPUT 1	INPUT 2	INPUT 3	INPUT 4	
コネクタ名	BNC X 5	D-Sub	RCA x 3	S-Video	RCA x 1
コンポーネント(Y,Cb,Cr)			*		
コンポーネント(HDTV)			*		
Sビデオ				*	
コンポジット					*
RGB	(*)	(*)			
音声入力	AUDIO 1	AUDIO 2	AUDIO 3	AUDIO 4	

* 表示可能

(*)RGB変換されたHDTV： 480P，720P，1080P

注意点

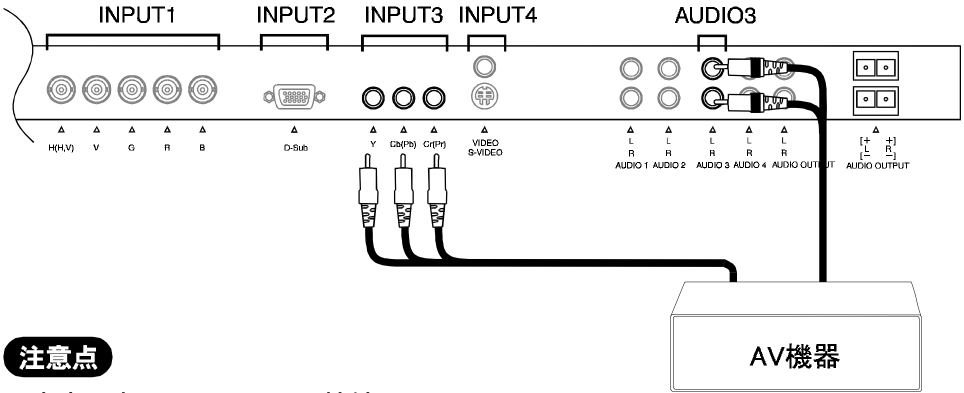
- **ディスプレイと各機器の電源が入っていないことを確認してください。**
- **より良い画質でお楽しみいただくため、Sビデオまたはコンポーネント信号での接続をおすすめします。**

1. 各機器を接続します。

接続後､各コネクタを確実に固定してください｡コネクタがゆるんでいると画面が乱れたり、色が正常に表示しません。

① コンポーネント･･･INPUT3への接続

コンポーネント出力をもつAV機器を接続します。

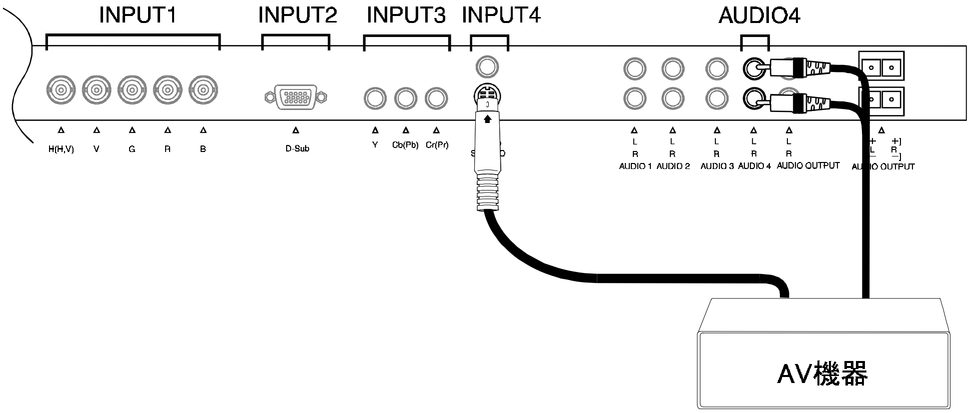


注意点

- **音声入力は、AUDIO 3に接続してください。**

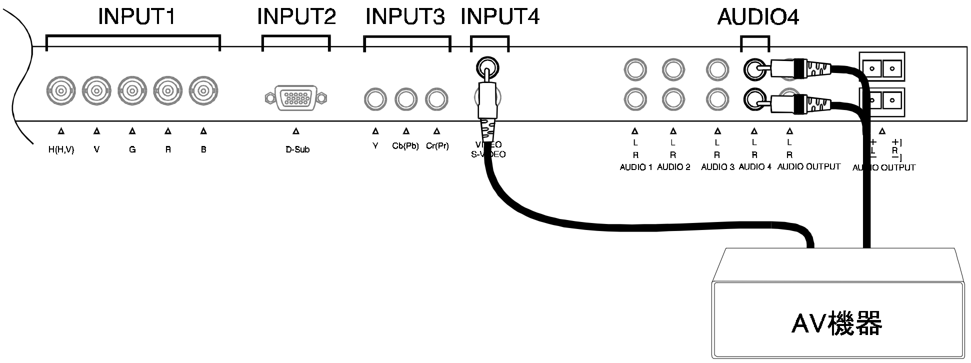
② Sビデオ・・・INPUT4（S-Video コネクタ）への接続

Sビデオ出力をもつAV機器を接続します。



③ コンポジット・・・INPUT4（RCA コネクタ）への接続

コンポジット出力をもつAV機器を接続します。

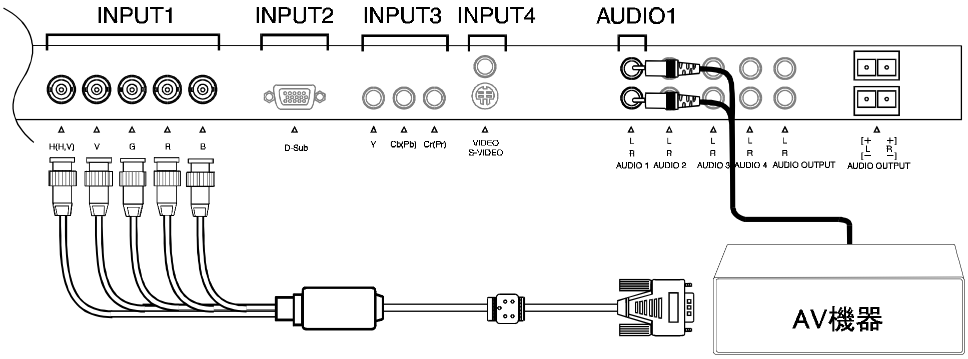


注意点

- **音声入力は、AUDIO 4に接続してください。**

④ RGB 出力をもつ AV 機器・・・INPUT1（BNC）への接続

RBG 変換された HDTV 出力の AV 機器を接続します。

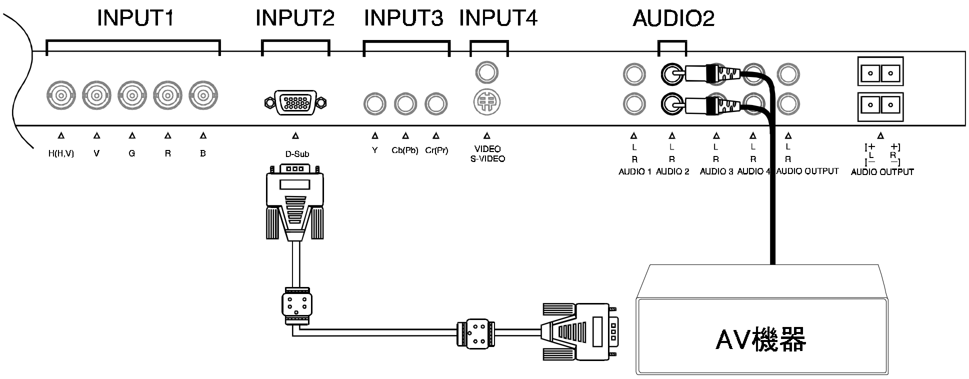


注意点

- **音声入力は、AUDIO 1 に接続してください。**
- **信号の種類によって H(H/V),V,G,R,B 接続してください。**
  （シンクオングリーン、H/V コンポジット）

⑤ RGB 出力をもつ AV 機器・・・INPUT2（D-Sub）への接続

RBG 変換された HDTV 出力の AV 機器を接続します。



注意点

- **音声入力は、AUDIO 2 に接続してください。**

2. 電源コードを電源コネクタと電源コンセントに接続します。

⚠警告

- **電源コードは必ず付属のものを使用する**

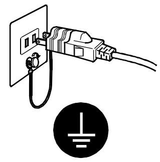
  それ以外の電源コードを使用すると、火災や感電の原因となります。



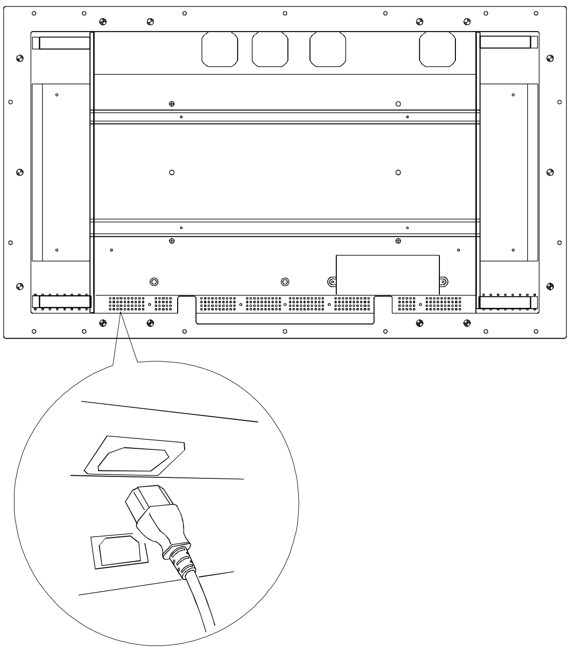
付属の電源コードを使用する

- **電源コードのアースリードを接地する**

  安全および電磁界輻射低減のため、アースは必ず接続してください。アース接続は、必ず電源プラグを電源につなぐ前におこなってください。外す場合は、先に電源プラグを電源から抜いてください。順番を間違えると感電の原因となります。



アースを接地する



3. 主電源スイッチを入れます。

ディスプレイの主電源を入れてから、コンピュータの電源を入れます。
電源ランプが点灯（緑色）します。

リモコンの「VIDEO」ボタンまたはディスプレイの「INPUT」ボタンで入力信号を選択すると画面が表示します。

使用後は、電源を切ってください。

3-3. 音声の接続

本機には、音声入力コネクタが 4 つと出力コネクタが 2 つ（AUDIO OUT とスピーカー）あります。

注意点

- **接続前にディスプレイと各機器の電源が入っていないことを確認してください .**

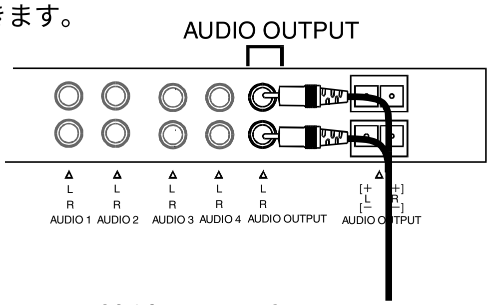
音声入力

付属のステレオミニジャックケーブル(MD-C102)を使って、音声入力を接続します。(18 ～ 19 または 22 ～ 24 ページ参照)

音声出力

1. 音声出力コネクタを接続する場合

他のオーディオ機器（アンプなど）を接続することによって、外部スピーカーなども利用できます。

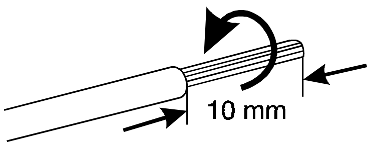


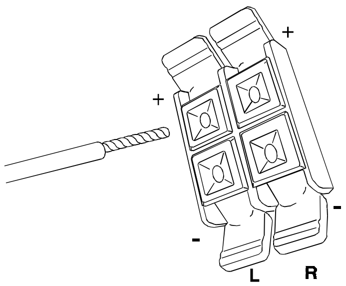
2. 外部スピーカーと接続する場合

本機には市販のスピーカーシステム接続用にスピーカー端子を備えています。下図を参照して接続をおこなってください。

① むき出ししたケーブルをねじります。

② タブを押し下げ、ケーブルを差し込みます . タブを押し下げ、ケーブルが抜けないようにします。





注意点

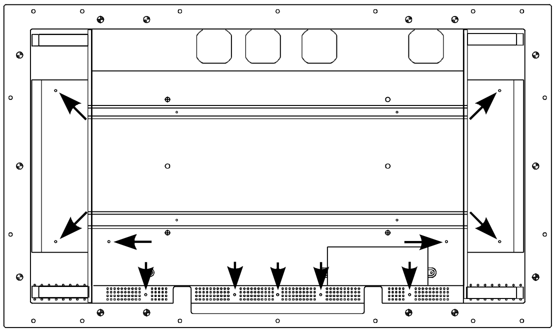
- **スピーカーを接続するときは、スピーカー側の端子と本機のスピーカー端子のプラス(+)とマイナス(-)を合わせてください。プラス(+)とマイナス(-)が合っていないと適正な音として聞こえません。**

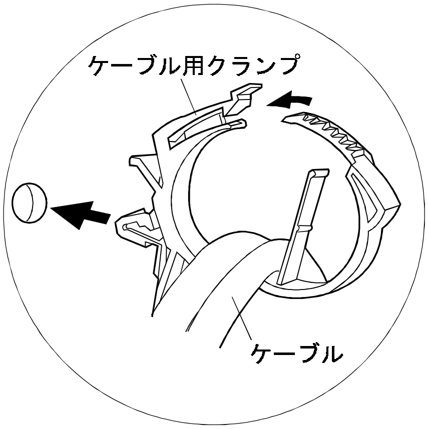
3-4. 接続ケーブルの処理について

本機には接続したケーブルをまとめるためのケーブル用クランプ（大・小 各2個）が付属しています。すべての接続が終わったら、ケーブル類が通行の妨げとなったりしないよう以下の手順でケーブルをまとめてください。

取り付け箇所について

ディスプレイ背面に11箇所（下図参照）あります。接続状況に応じて使用してください。



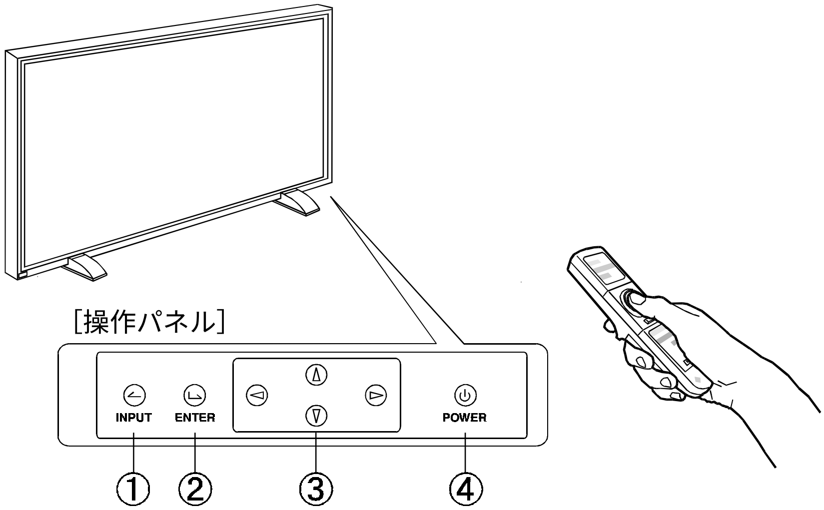


参考

- クランプは取り外しができます。

第 4 章 操作方法

設置、接続が終了したら、リモコンを使って画面調整や各種設定をおこないます。



参考

- リモコンが使用できない場合はディスプレイの操作パネル(底面)を使用してください。

操作パネル		リモコン	機能
	INPUTボタン	RGB/VIDEOボタン	入力信号選択
	エンターボタン	エンターボタン	ScreenManager調整
	コントロールボタン	コントロールボタン	
	電源ボタン	電源ボタン	電源オン/オフ

4-1. リモコン操作

よく使う基本的な機能は、リモコンボタンで操作します。リモコンは背面の主電源スイッチが入っている場合に操作できます。

はじめに

リモコンの ID と、ディスプレイの ID が一致しているか確認します。(30 ページ参照)
リモコンはIDが一致している場合に操作ができますが、以下のボタンはIDが一致していなくても可能です。

＊ ID ボタンおよび 1 ～ 9 の数字キー
＊ Port-info ボタン
＊ 強制電源オン / オフボタン

リモコン機能

電源ボタン[POWER]
主電源（ディスプレイ背面）がオンの場合に電源のオン/オフ（リモコンスタンバイ）をします。

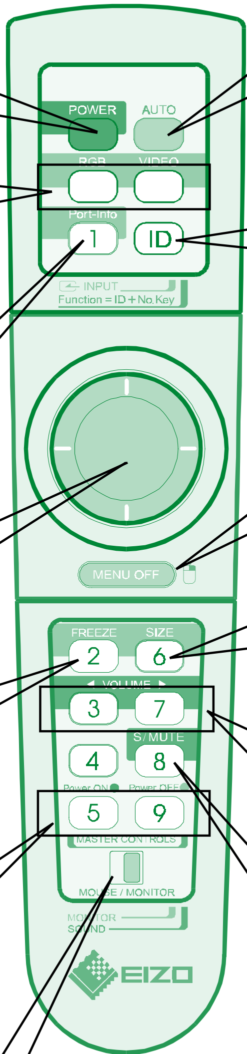
入力信号選択
[RGB]→コンピュータ信号
[VIDEO]→AV機器信号
押すたびに表示信号を切り換え表示します。→次ページ

確認ボタン[Port-Info]
*現在の入力信号確認
*ID番号の確認
→次ページ

コントロールボタン/マウスポインター
ScreenManagerの上下左右の方向選択をします。

一時停止[FREEZE]
表示を一時停止します。いずれかのボタンを押すと解除します。

電源強制オン[Power ON]
電源強制オフ[Power OFF]
1秒間以上押すと、センサーが届く範囲にある複数台のディスプレイの電源を同時にオン/オフします。



画面オート調整[AUTO]
表示画面の自動調整をします。

ID設定[ID]
2秒間以上押すと赤色に点灯し、リモコンのIDが設定できます。→次ページ

メニューオフ/右クリック[MENU OFF]
ScreenManagerを終了します。

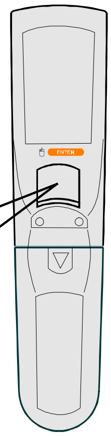
画面サイズ[SIZE]
押すたびに画面のサイズを切り換え表示します。

音量[VOLUME]
音量を調整します。

ミュート[MUTE]
音を一時停止します。もう一度ボタンを押すと解除します。

マウス切り換え[MOUSE/MONITOR]
リモコンをマウス操作に切り換えます。

《背面》
エンター/左クリック[ENTER]
ScreenManagerの起動/決定をします。



参考

- グレー部の機能は、リモコンをマウスとして使用する場合に使用するボタンです。
（設定方法については21ページを参照してください。）

ID の確認

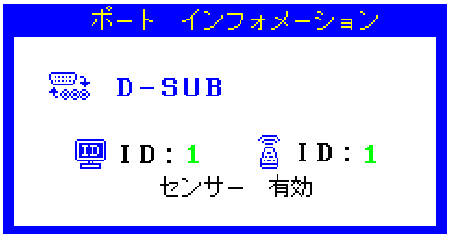
P5071はディスプレイ、リモコンそれぞれに1～9までのID設定ができます。ディスプレイとリモコンのIDが一致しているときにディスプレイの各設定や調整ができます。

[IDの確認]

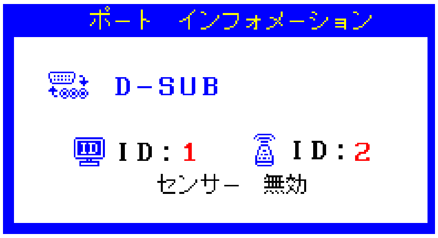
① リモコンの「Port-Info」ボタンを押す。
② 以下のいずれかのメニューが表示される。
③ ディスプレイのIDとリモコンのIDが異なる場合、リモコンIDを変更する。

（例）INPUT 2(D-Sub入力)

IDが一致している場合



IDが一致していない場合



[IDの変更]

① リモコンの「ID」ボタンを2秒以上押す。
② IDボタンが赤く点灯する。点灯している間に、1～9までの数字キーでID番号を選択する。

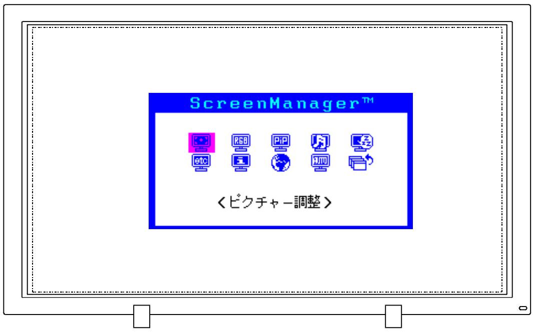
入力信号の切り換え

「RGB」ボタン、「VIDEO」ボタンをそれぞれ押すたびに以下の順番で表示を切り換えます。

RGBボタン	「D-Sub」→「BNC」→「D-Sub」→・・・・・
VIDEOボタン	「Component HDTV」→「Component YCbCr」→「S-Video」→「Composite」→
INPUTボタン（ディスプレイ操作パネル）	「D-Sub」→「BNC」→「Component HDTV」→「Component YCbCr」→「S-Video」→「Composite」→「D-Sub」→・・・・・

4-2. ScreenManager 操作

ディスプレイの調整や設定はScreenManager（オンスクリーン）のメニューを表示してリモコンのエンターボタンとコントロールボタンでおこないます。メインメニューとサブメニューがあります。調整項目は次頁を参照してください。



メインメニュー

1. メニューの表示

エンターボタンを押し、メインメニューを表示します。メインメニューの調整項目は入力信号によって異なります。

2. 調整 / 設定

① コントロールボタンで調整/設定したい項目を選択し、エンターボタンを押して、選択した項目のサブメニューを表示します。
② コントロールボタンで調整/設定したい項目を選択し、エンターボタンを押して、選択した項目の調整/設定メニューを表示します。
③ コントロールボタンで調整/設定し、エンターボタンを押して確定します。

3. 終了

① サブメニューより＜リターン＞を選択し、エンターボタンを押して、メインメニューに戻ります。
② メインメニューより＜メニューオフ＞を選択し、エンターボタンを押して、ScreenManagerを終了します。

参考

- ScreenManager は表示中に何も操作をしないと、約 45 秒後に自動的に消え終了します。
- MENU OFF ＜メニューオフ＞ボタン
  どの調整画面からでも ScreenManager を終了させることができます。

機能一覧

ScreenManagerの調整および設定項目一覧表です。サブメニューは入力信号によって異なります。（グレー部分は調整項目がありません。）

機能		コンピュータ		AV機器	
メインメニュー	サブメニュー	D-SUB	BNC	HDTV	YCbCr/ S-Video/ Composite
ピクチャー調整	クロック	○	○		
	フェーズ	○	○		
	ポジション	○	○		
	解像度	○	○		
	コントラスト	○	○	○	○
	ブライトネス	○	○	○	○
	スクリーンサイズ	○	○		○
	マルチパネル	○	○	○	○
	スムージング	○	○	○	○
カラー調整	カラーモード	○	○	○	○
	ゲイン	○	○	○	○
	パネルモード	○	○	○	○
	色の濃さ			○*1	○*1
	リセット	○	○	○	○
オーディオ調整	ボリューム・トーン	○	○	○	○
	ミュート	○	○	○	○
	オーディオモード	○	○	○	○
その他	メニューポジション	○	○	○	○
	メニュー色	○	○	○	○
	オフタイマー	○	○	○	○
	ケーブル	○	○		
	BNCターミネーション		○		
	センサーID	○	○	○	○
	スクリーンガード	○	○	○	○
	リセット	○	○	○	○

※1 YCbCr, SECAM信号の場合には「色合い」調整がありません。

機能		コンピュータ		AV機器	
メインメニュー	サブメニュー	D-SUB	BNC	HDTV	YCbCr/S-Video/Composite
インフォメーション		○	○	○	○
言語選択		○	○	○	○
ピクチャー インピクチャー	サイズ	○	○		
	入力ポート選択	○	○		
	位置	○	○		
	コントラスト	○	○		
	ブライトネス	○	○		
	色の濃さ	○	○		
	オーディオ	○	○		
PowerManager		○	○		
オート		○	○	○	○
信号選択					○

ScreenManager メニュー設定

<言語選択>

必要に応じてメニュー表示言語を変更してください。(英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、スウェーデン語、日本語)

<メニューポジション>と<メニュー色>

調整メニューが調整の妨げになる場合、<その他>メニューを使って、ScreenManagerの<メニューポジション>と<メニュー色>を変更してください。

4-3. 画面調整（コンピュータ）

表示サイズを切り換える

3種類の表示サイズで表示できます。｢SIZE(サイズ)｣ボタンを押すたびに次のように切り換ります。

フルスクリーン → 拡大 → 実寸 →（フルスクリーンへ戻る）

フルスクリーン	入力信号を16:9の画面いっぱいに表示します。
拡大	入力信号のアスペクト比を保ち、画面いっぱいに表示します。
実寸	入力信号と表示画面を1:1に対応させて、忠実に表示します。

表示解像度一覧

解像度	垂直周波数	備考	実寸	フル スクリーン	拡大	注
640 x 400	70 Hz	PC98X1	*	*	*	
640 x 480	～ 85 Hz	VGA	*	*	*	
720 x 400	70 Hz	VGA Text	*	*	*	
832 x 624	75 Hz	Apple Macintosh	*	*	*	
852 x 480**	60 Hz	---	*	*	*	
800 x 600	～ 85 Hz	VESA	*	*	*	
1024 x 768	～ 85 Hz	VESA	*	*	*	(1)
1280 x 1024**	56 Hz	---	*	*	*	(2)
1152 x 864	56 Hz	VESA	*	*	*	(3)
1152 x 870	75 Hz	Apple Macintosh	*	*	*	(3)
1152 x 900	76 Hz	SUN WS	*	*	*	(3)
1280 x 960	60 Hz	VESA	*	*	*	(3)
1280 x 960	75 Hz	Apple Macintosh	*	*	*	(3)
1280 x 1024	～ 85 Hz	VESA	*	*	*	(3)
1600 x 1200	～ 75 Hz	VESA	*	*	*	(3)

**これらの解像度の詳細は、販売店またはエイゾーサポートにお問い合わせください。

(1)　1024x768の実寸サイズと拡大サイズとは同一サイズとなります。
(2)　1280x768は実寸、フルスクリーン、拡大すべて同一サイズとなります。
(3)　水平解像度が1280を越える信号、または垂直解像度が768を超える場合「実寸」では、画面が欠けます。
また｢フルスクリーン｣、｢拡大」は圧縮表示になります。

調整手順

プラズマディスプレイの画像の調整とは、使用するシステムに合わせ、画像のちらつきを抑えたり画面位置や画面サイズを正しく調整するためのものです。快適に使用していただくために、ディスプレイを初めてセットアップしたときや使用しているシステムの設定を変更した場合には、ScreenManagerを使用して画像を調整していただくことをおすすめします。付属のユーティリティディスクに画像調整用プログラムが含まれていますのでご利用ください。

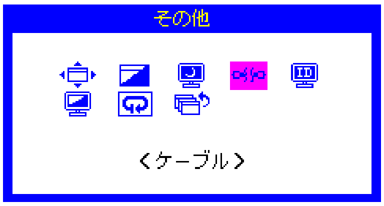
注意点

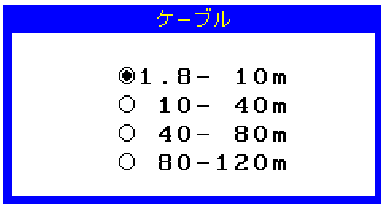
- **調整はディスプレイの電源を入れて、30分以上経過してからおこなってください。（内部の電気部品の動作が安定するのに約30分かかります。）**

1. 使用ケーブルの長さによる画像の劣化を調整します。

接続するケーブルの長さによって画像の劣化（画像の右側に影が見える、縦線が明るく見える）が生じる場合があります。

＜その他＞メニューの＜ケーブル＞を選択し、劣化を補正します。
選択メニューの長さは目安ですので、表示画面の状態を見ながら最適な設定を選んでください。





注意点

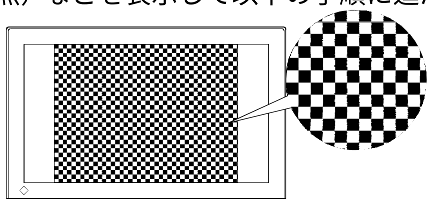
- 本機能は1280x768以下の解像度の場合に有効です。

2. 画面調整用 プログラムをインストールします。

「EIZO PDP ユーティリティディスク」（付属品）の「画像調整プログラム」をディスク内のreadmeja.txtあるいは「お読みください」ファイルにしたがって、インストールし起動します。

参考

- ご使用のシステム対応したプログラムがない場合は、画面に1ドット抜きのパターン（下記参照）などを表示して以下の手順に進んでください。



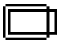
3. AUTO(オート)ボタンを押します。

「もう一度ボタンを押すとオートアジャストが実行されます」のメッセージが5秒間表示されます。メッセージが表示されている間にもう一度オートボタンを押すと、オートアジャスト機能が働き（動作中であることを示す画面が表示されます。)、クロック、フェーズ、表示位置、解像度、コントラスト、ブライトネスが調整されます。

オートボタンで調整しきれない場合は以降の手順にしたがって調整をおこなってください。

4. ScreenManagerの＜ピクチャー調整＞により調整します。

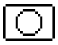
(1) 解像度を確認します。

→  解像度を確認します。

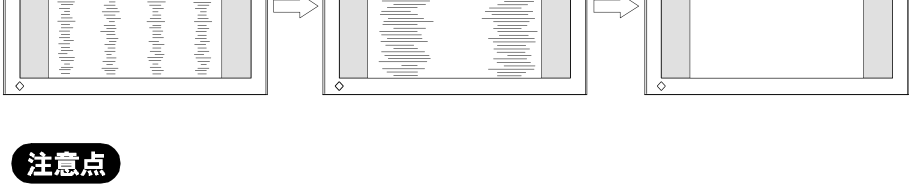
入力信号の解像度と、解像度調整画面に表示されている解像度が異なる場合に調整します。

＜解像度＞を選択し、調整画面に表示されている解像度と、入力信号の解像度が同じになるように上・下のコントロールボタンで垂直方向の、左・右のコントロールボタンで水平方向の解像度を調整します。エンターボタンで確定すると、しばらく画面が暗くなった後表示されます。

(2) 画面上に縦縞が出ている場合

→  クロックp.62)を調整します。

＜クロック＞を選択し、左･右のコントロールボタンを使用して縦縞が消えるように調整します。調整が合ったポイントを見逃しやすいので、コントロールボタンはゆっくり押して調整するようにしてください。
調整後、画面全体ににじみやちらつき、横線が出た場合は次の「(3)フェーズ調整」にすすみ調整をおこなってください。



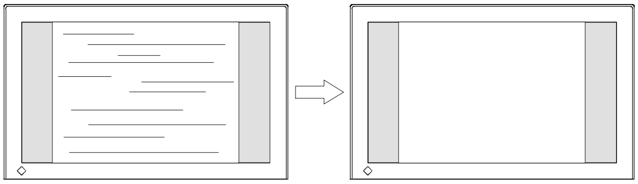
注意点

- **クロックを調整すると、水平の画面サイズも変化します。**

(3) 画面全体がちらつい たり、にじむようにみえる場合

→ フェーズp.63)**を調整します。**

＜フェーズ＞を選択し､左･右のコントロールボタンを使用して最もちらつきやにじみのない画面に調整します。



注意点

- **お使いのコンピュータやグラフィックスボードによっては､完全になくならないものがあります。**

(4) 画面の表示位置がずれている場合

→ ポジションを調整します。

プラズマディスプレイは画素数および画素位置が固定であるため､正しい表示位置は１箇所です。ポジション調整とは画面を正しい位置に移動させるための調整です。

＜ポジション＞を選択し、画像のまわりの点線枠が全て表示するように上･下･左･右の コントロールボタンで調整します。
調整後、画面に縦縞が現れた場合は､「(2)クロック調整」に戻り、再度調整をおこなってください。（クロック→フェーズ→ポジション）

5. 明るさの設定

→ ブライトネスを調整します。

画面全体の明るさをお好みの状態に調整します。

＜コントラスト･ブライトネス＞を選択し、コントロールボタンで調整します。

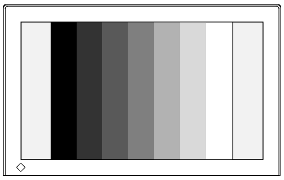
6. コントラストの設定

→ コントラストを調整します。

＜コントラスト･ブライトネス＞を選択し､コントロールボタンでコントラストを調整します。

参考

- より正確に階調をとりたい場合は画面にグレースケールパターンなどを表示し調整してください。（調整ソフトを活用ください。）



参考

- **直接コントロールボタンを押しても、コントラスト･ブライトネスの調整ができます。**

7. 文字や線がぼやけて見える場合

→ スムージング調整をします。

「フルスクリーン」､「拡大」表示をしている場合に文字や線がぼやけて見える場合があります。

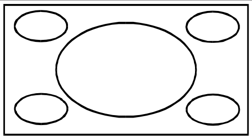
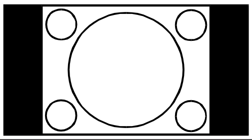
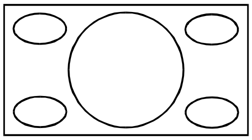
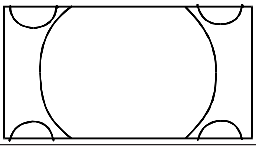
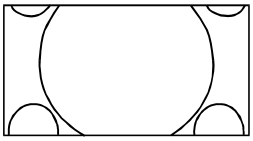
＜スムージング＞を選択し、上･下のコントロールボタンで1〜5段階（シャープ〜ソフト）からお好みに応じて選択します。

4-4. 画面調整（AV機器）

表示サイズを切り換える

5種類のサイズで表示できます。「SIZE（サイズ）」ボタンを押すたびに次のように切り換ります。HDTV入力はフルスクリーン表示のみです。

フルスクリーン → 4：3 ノーマル → ナチュラルワイド → シネマ → サブタイトル → フルスクリーン

フルスクリーン		**画面いっぱいにフルスクリーン表示します。**
4:3ノーマル		**4:3のアスペクト比で表示します。**
ナチュラルワイド		**アスペクト比4:3の信号を入力した場合、画面中央部の比率は保持したまま、フルスクリーン表示します。（パノラマモード）**
シネマ		**字幕スーパーつきの映像を見る場合のサブタイトル（字幕部分）をカットして映像部分をフルスクリーン表示します。**
サブタイトル		**字幕スーパーつきの映像のサブタイトル（字幕部分）を含んだ状態でフルスクリーン表示します。**

ビデオ信号対応一覧

垂直周波数	水平周波数	INPUT 1,2	INPUT 3	INPUT 4	INPUT 4	備考
fV (Hz)	fH (kHz)	アナログRGB	コンポネント	Sビデオ	コンポジット	
50	15.625		*	*	*	PAL/SECAM
60	15.734		*	*	*	NTSC4.43/NTSC
60	33.75		*			1080I (HDTV)
60	31.5	*				480P
60	45.0	*				720P (HDTV)
60	67.5	*				1080P (HDTV)

調整手順

注意点

- **調整はディスプレイの電源を入れて、30分以上経過してからおこなってください。（内部の電気部品の動作が安定するのに約 30 分かかります。）**

1. 信号形式を選択をする

→ 信号形式メニューを選択します

YCbCr/S-ビデオ/コンポジット信号を入力した場合、信号形式を選択してください。通常は、入力信号に応じて自動判別しますが、信号が不安定な場合（画面が乱れる場合）入力信号の方式に合わせて切り換えてください。

＜信号選択＞メニューのNTSC/NSTC4.43/PAL-M/PAL/SECAMからコントロールボタンで選択します。

2. 明るさの設定

→ ブライトネスを調整します。

画面全体の明るさをお好みの状態に調整します。

＜コントラスト･ブライトネス＞を選択し、コントロールボタンで調整します。

3. コントラストの設定

→ コントラストを調整します。

＜コントラスト･ブライトネス＞を選択し､コントロールボタンでコントラストを調整します。

参考

- **直接コントロールボタンを押しても、コントラスト･ブライトネスの調整ができます。**

4. 文字や線がぼやけて見える場合

→ スムージング調整をします。

＜スムージング＞を選択し、上･下のコントロールボタンで1～5段階（シャープ～ソフト）からお好みに応じて選択します。

4-5. カラー調整

ScreenManagerの＜カラー調整＞メニューを使って、お好み明るさや色に調整ができます。調整は、入力信号ごとに設定できます。

注意点

- **調整はディスプレイの電源を入れて、30 分以上経過してからおこなってください。（内部の電気部品の動作が安定するのに約 30 分かかります。）**
- **ディスプレイにはそれぞれ個体差があるため、複数台を並べると同じ画像でも異なる色に見える場合があります。複数台の色を合わせるときは、視覚的に判断しながら微調整してください。**
- **＜カラー調整＞メニューの＜リセット＞を選択すると表示されている信号の明るさと色設定は初期設定（工場出荷状態）に戻ります。**

1. 入力信号に合わせた明るさを設定する。

→  パネルモードを選択します。

表示する信号の種類によって最適な明るさを４種類選択できます。

PC1	コンピュータ信号用通常モード
PC2	コンピュータ信号用階調重視モード
ムービー１	動画用高輝度モード
ムービー２	暗い部屋での動画通常モード

注意点

- **ウインドウパターンなどの輝度が集中する画像を表示する場合は「パネルモード」のムービー１設定を選択しないでください。**
- **PAL,SECAM 信号については、ムービー１の固定設定になります。**

2. 背景の白色の色合いを変える。

→  カラーモードを選択します。

白い背景のアプリケーションを使用している場合などに、背景の白色の色合いを変えることができます。

＜カラーモード＞を選択し、モード（1･2･3）を選択します。

カラーモード１	プラズマパネル本来の色（調整していません）全ての色階調を表示できます。
カラーモード２	9300K。全ての色階調を表示できません。
カラーモード３	6500K。全ての色階調を表示できません。

3. 赤･青･緑のそれぞれの色調を調整する。

→ ゲインp.62) にて色調を調整します。

赤、緑、青のそれぞれの明度を調整することにより、色調を自分でつくります。

［調整方法］

① 背景が白またはグレーの画面を表示します。

② ＜カラー調整＞メニューより＜ゲイン＞を選択し、コントロールボタンで各色の値を調整します。

③ 最後にコントラストを再調整し、ブライトネスで明るさを調整してください。

4. 色を鮮やかにする場合（AV 機器信号の場合のみ）

→ 色の濃さで調整します。

色の濃さ	色を鮮やかにします。0 ～ 100 の間で調整します。
色合い *	肌色などを好みの色合いにする場合 0 ～ 100 の間で調整します。

注意点

- **YCbCr 信号と SECAM 信号の場合は色合い調整はできません。**

5. 色設定を初期設定に戻したい場合

→ リセットを選択します。

リセットを選択すると､表示されている信号の明るさと色調整は初期設定（工場設定状態）に戻ります .

4-6. 音声の調整

ScreenManagerの「オーディオ調整」メニューを使って、お好みの音質を設定できます。オーディオ入力ポート毎に設定できます。

1. 音量、音質を調整する。

→ ボリューム・トーンで調整します。

音量、音質は信号毎に登録できます。

ボリューム	音の大きさを調整します。0で音が消えます。
バス	低音の調整をします。
トレブル	高音の調整をします。
バランス	左右の音量バランスを調整します。

2. 音を一時的に消す。

→ ミュートを選択します。

参考

- **ボリュームの調整とミュート機能はリモコンボタンで操作できます。**

3. スピーカー出力特性を選択する。

→ MODE オーディオモードを選択します。

スピーカーの出力音は「ステレオ、ミュージック、ムービー、モノラル」のいずれかのモードに切り換えられます。

ステレオ	オリジナル
ミュージック	ステレオ音声のボーカルを強調します。（音楽用途）
ムービー	ステレオ音声の臨場感が増します。（映画用途）
モノラル	左右の音声を合成したモノラル出力

第5章 便利な機能

ScreenManagerの＜その他＞メニューや操作ボタンを使って、各種機能が活用できます。

5-1. 各種機能

タイマー機能

ディスプレイの使用時間を設定することにより、設定した時間が終了すると自動的にディスプレイの電源がオフされます。
ディスプレイの電源切り忘れによる消費電力を軽減させる機能です。

[設定方法]

① ScreenManager＜その他＞メニューより＜オフタイマー＞を選択します。
② 「有効」を選択した後、ディスプレイの使用時間（1H～23H）を設定します。

[オフタイマーの流れ]

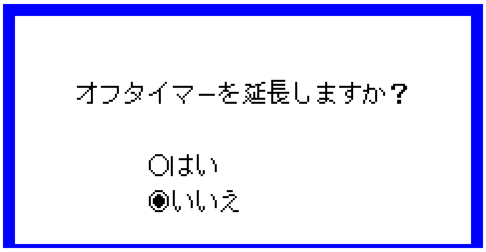
タイマー	ディスプレイの状態	電源ランプ
設定時間（1H～23H）	オン	緑点灯
設定時間終了15分前	予告期間*1	緑点滅
設定時間終了後	電源オフ	黄ゆっくり点滅

[復帰方法]

リモコンまたはディスプレイの電源ボタンを押します。

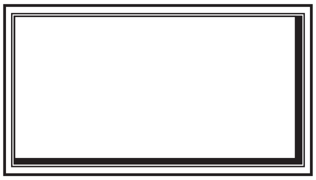
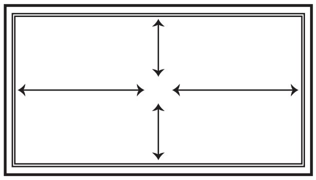
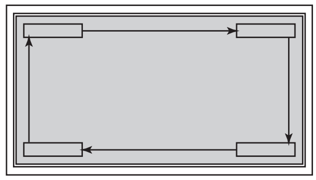
注意点

＊1 設定時間の15分前は終了予告期間です。期間中にリモコンやコントロールパネルのいずれかのボタンを押すと、以下の確認メッセージが表示されます。
「はい」を選択すると、タイマーを90分間延長することができます。



スクリーンガード

PDP ディスプレイは、部分的に明るいウィンドウなどが長時間表示されている場合に、その部分が焼き付きを起こすことがあります。スクリーンガードは、表示位置や大きさ、明るさを変えることで、パネル焼き付きを軽減します。3つの機能がありますので、表示用途に応じて設定してください。
スクリーンガードは、操作パネルやリモコンによる入力を停止した後、動作します。

＜ポジション＞	＜ストレッチ＞	＜スクリーンセーバー＞
		
20 分おきに画面の表示位置を上下左右に移動させます。 暗い画面に、線画や画枠やテキストなどを常時表示している画面に使用します。設定ドット数を増やすと、効果は大きくなりますが、周辺部分の画面欠けがやや多くなります。	20 分おきに画面の大きさを変えずに画面の一部分を伸び縮みさせます。 暗い画面に、線画や画枠やテキストなどを常時表示している画面に使用します。画面の移動はありませんが、画面上に多少のゆがみが生じます。	あらかじめ設定した時間後、画面の明るさを落とします。実行中は、スクリーンセーバーの文字が画面に表示されます。 あらゆる画面に適しますが、常時画面を出していることが目的（掲示板など）の場合には適しません。

[設定方法]

① ScreenManager ＜その他＞メニューより＜スクリーンガード＞を選択します。
② 表示画面に合わせて＜ポジション＞、＜ストレッチ＞、＜スクリーンセーバー＞より選択します。
③ それぞれ設定をします。

＜ポジション＞ .... 移動する画面のドット数を選択します。

＜ストレッチ＞ ....「On」を選択します。

＜スクリーンセーバー＞ . 画面の明るさが落ちるまでの時間を設定します。

参考

- スクリーンセーバーから復帰するためには、次の方法があります。
  ＊リモコンがリモコンモードのとき、電源ボタン（POWER）、電源強制オン（ALL ON）、電源強制オフ（ALL OFF）以外のボタンを押します。
  ＊リモコンがマウスモードのとき、一時停止（FREEZE）画面サイズ（SIZE）音量（VOLUME）ミュート（MUTE）のいずれかのボタンを押します。
- スクリーンガードの設定は、PC 信号入力と VIDEO 信号入力で個別に設定できます。

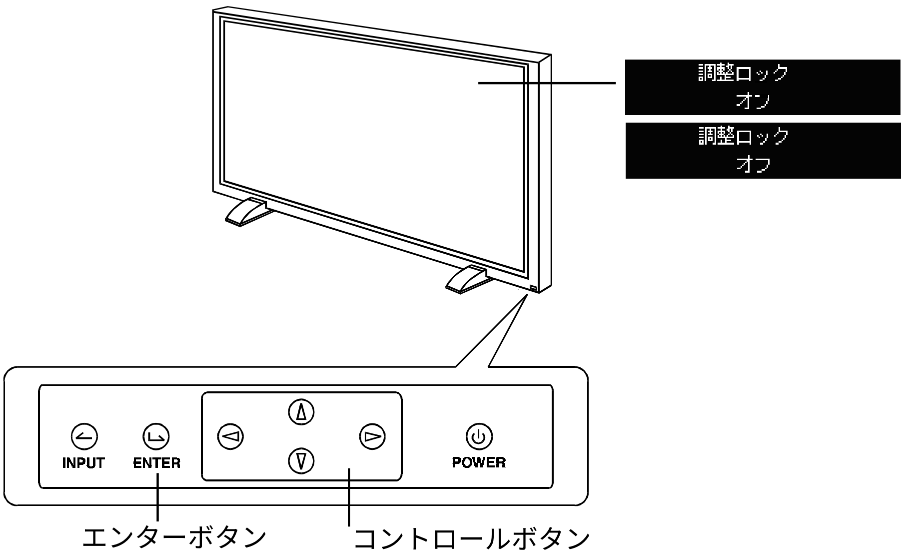
調整ロック機能

一度調整/設定した状態をむやみに変更したくないときにご利用ください。

ロックされる機能	● 操作パネルのエンターキー ● リモコンのエンターボタンとオートボタン
ロックされない機能	● 操作パネルのコントロールボタンによる コントラスト、ブライトネス調整 ● エンターボタンとオートボタン以外のリモコン操作

[設定方法]

ディスプレイの操作パネルのコントロールボタン「左キー」を押しながらとエンターキーを2秒以上押すと調整ロックがかかります。



[解除方法]

ディスプレイの操作パネルのコントロールボタン「右キー」を押しながらとエンターキーを2秒以上押すと調整ロックが解除されます。

初期設定に戻す＜リセット＞

[設定方法]

ScreenManager＜その他＞メニューより＜リセット＞を選択します。

初期設定は60ページを参照してください。

5-2. コンピュータ信号の機能

節電設定

本機は「VESA DPMS[p.63]」に準拠し、さらにスクリーンセーバー（模様なし）など、ブランク（黒）の画面に連動する「EIZO MPMS[p.62]」を採用しています。

1. コンピュータの節電機能「VESA DPMS」を使用する場合：

[設定方法]

① コンピュータの節電機能を設定します。
② ＜PowerManager＞メニューより、＜VESA DPMS＞を選択します。

[節電の流れ]

30秒間メッセージが表示され、その後に節電モードに移行します。

コンピュータの状態		ディスプレイの状態	電源ランプ
オン		オペレーションモード	緑
節電モード	スタンバイ サスペンド オフ	節電モード	黄

[復帰方法]

キーボードまたはマウスを操作します。

2. スクリーンセーバー（黒画面）に連動させる場合:

[設定方法]

① コンピュータのスクリーンセーバーの「模様なし」や画面がブランク（黒）になるパターンを設定します。
② ＜PowerManager＞メニューより＜EIZO MPMS＞を選択します。

[節電の流れ]

30秒間メッセージが表示され、その後に節電モードに移行します。

コンピュータの状態	ディスプレイの状態	電源ランプ
オン	オペレーションモード	緑
・スクリーンセーバーが 働く ・省エネルギー設定が働く (Macintosh)	節電モード	黄

[復帰方法]

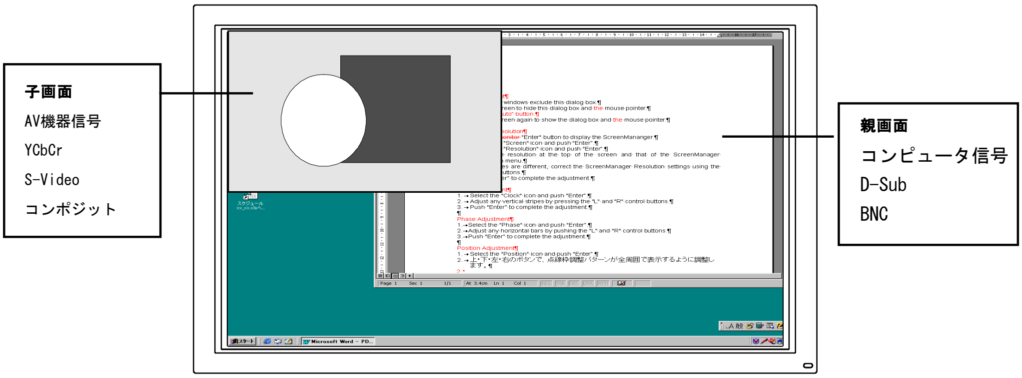
キーボードまたはマウスを操作します。

注意点

- Macintoshの「省エネルギー設定」をご使用の場合は＜EIZO　MPMS＞を設定してください。
- ディスプレイが節電モードに入っていて、表示切り換えをおこないたい場合は、リモコンのRGBボタンを押していったんディスプレイを立ち上げてから切り換えてください。ディスプレイの入力信号選択ボタンの場合は、そのまま切り換えられます。
- リモコンスタンバイの状態では、1W以下になります。
- 完全な節電のためにはディスプレイの電源をオフすることをおすすめします。また、電源プラグを抜くことで、確実にディスプレイへの電源供給は停止します。

ピクチャーインピクチャー

コンピュータ信号を親画面として、AV機器の信号を子画面表示することで、2つの画面を同時に表示します。



注意点

- HDTVは子画面表示できません。

[設定方法]

ScreenManager＜ピクチャーインピクチャー＞メニューを選択します。

① ＜サイズ＞を選択します。
　1,2,3の順番に表示サイズが大きくなります。いずれかを選択します。

② ＜入力ポート選択＞を選択します。
　接続しているAV機器を選択します。

[調整方法]

調整アイコンを選択して、子画面の調整をします。

位置	表示位置を調整します。
コントラスト＊	コントラストを調整します。
ブライトネス＊	ブライトネスを調整します。
色の濃さ＊	色の濃さ、色合い
オーディオ	出力音声について親画面と子画面を切り換えます。

注意点

- **コントラスト・ブライトネス、色の濃さの設定は表示しているAV機器の＜ピクチャー調整＞での調整と連動しています。**

5-3. 複数台使う

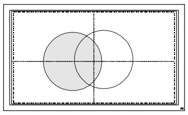
P5071を複数台設置した場合の活用機能を紹介します。

マルチパネル表示

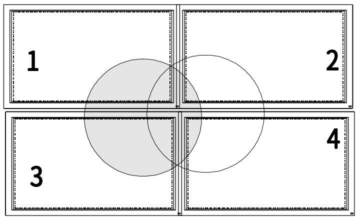
横方向、縦方向それぞれ4台までの枠内で、最大9台までを並べて設置し、大画面表示ができます。設置の組み合わせは、2台（1×2、2×1）、3台（1×3、3×1）、4台（1×4、2×2、4×1）、6台（2×3、3×2）、8台（2×4、4×2）、または9台（3×3）です。

＜例＞

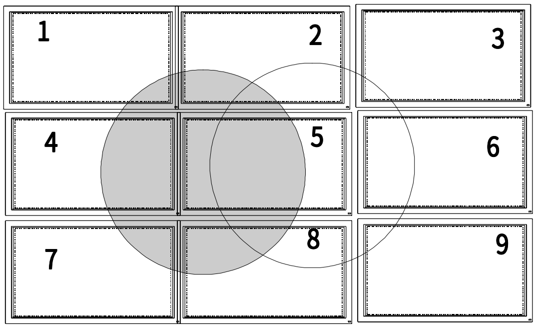
1画面表示



4画面表示(2x2)



9画面表示(3x3)



[設定方法]

① ScreenManager＜ピクチャー調整＞メニューより＜マルチパネル＞を選択します。
② 表示したい台数（横x縦）を設定します。
③ 表示したい部分の数字を選択します。

参考

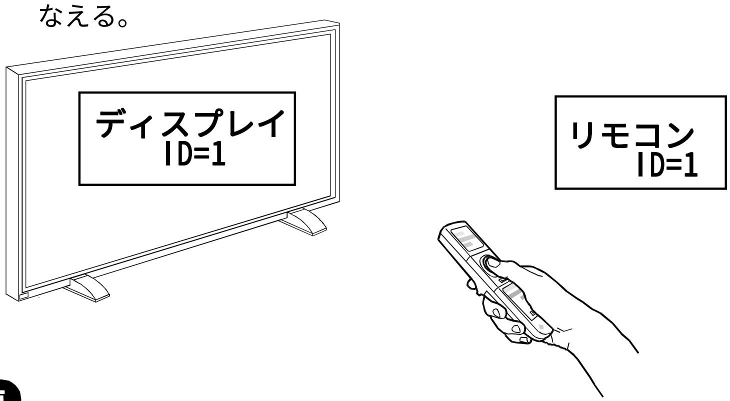
- マルチパネル表示の場合、表示モードは自動的にフルスクリーン表示になります。
- BNCケーブルで接続をする場合は、＜その他＞メニューの＜BNCターミネーション＞を使って、すべてのディスプレイのターミネーションを「∞」に設定し、最後尾のディスプレイは75Ωに設定してください。
  なお、この場合は最後尾のディスプレイの電源は最後に切ってください。
  ＊BNCケーブルによる分配接続はコンピュータ信号の場合にのみ有効です。
- よりきれいな表示をするには、オプションの分配器のご使用をおすすめします。

リモコン ID を活用した調整設定

複数台のディスプレイを設置した場合に一台のリモコンを使って調整できます。
調整が必要でないディスプレイに影響がないように、調整したいディスプレイとリモコンの ID を同じ数字に設定します。

[例]

① 調整したいディスプレイの ID を[1]に設定する。
② その他のディスプレイの ID は[2]に設定する。
③ リモコンの ID を[1]に設定する。
④ 複数あるディスプレイのうち、[1]に設定したディスプレイの操作のみおこなえる。



注意点

- **ディスプレイの ID をリモコン ID と違う数字に変更した時点で、リモコン操作はできません。**
- **ID が一致していなくても操作可能なリモコンボタンは以下のとおりです。**
  - **ID ボタンおよび 1～9 の数字キー**
  - **Port-Info ボタン(リモコン ID 確認）ボタン**
  - **Power ON（強制電源オン）ボタン**
  - **Power Off（強制電源オフ）ボタン**

[ディスプレイ ID 設定方法]

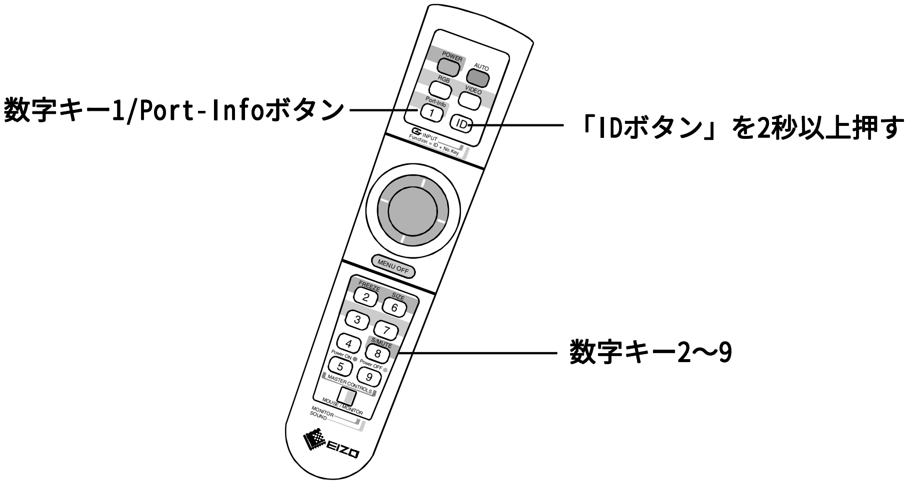
① ＜その他＞メニューより＜センサー ID ＞を選択します。
② 左右のコントロールキーを押し 1～9 までの ID 番号を選択します。

[リモコン ID 設定方法]

① リモコンの ID ボタンを 2 秒以上押してください。
② ID ボタンが赤く点灯します。点灯している間に、1～9 までの数字キーで ID 番号を選択します。

5
便利な機能

設定が終了したら、リモコンのPort-Infoボタンを押して確認メニューを表示させてID番号が一致していることを確認してください。

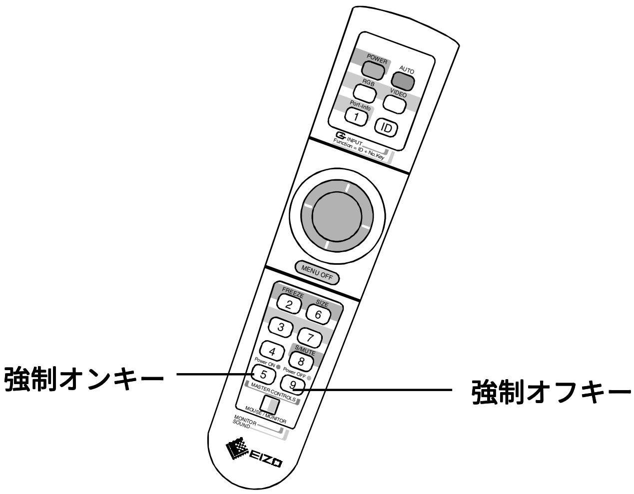


電源強制オン、オフ

リモコンのIDが一致していなくても、リモコンのセンサーが届く範囲にあるディスプレイの電源を一括して強制オン、オフします。

[操作方法]

① ディスプレイにリモコンを向けてPower On(強制オン)ボタンまたはPower Off(強制オフ)ボタンを1秒以上押す。
② センサーが届いたディスプレイの電源がオンまたはオフします。



第 6 章 故障かなと思ったら

症状に対する処置をおこなっても解消されない場合は、販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。

◆ 画面が表示されない場合

症状	チェックポイント / 対処方法
1. 電源が入らない ● 電源ランプが点灯しない	□ 電源プラグがはずれていませんか？ □ 主電源スイッチは入っていますか？
2. 画面が表示されない ● ファンが停止し電源が落ちる。 < 黄色点滅 >	□ ディスプレイ動作中はファンが回ります。故障によりファンが停止すると画面が表示されなくなり、[ファンエラー]のメッセージ15秒間後に電源が落ちます。電源を切り販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。
● 電源ランプが点灯しない	□ 電源コードが正しく差し込まれていますか。 □ 電源スイッチを切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。
● 電源ランプが点灯する < 緑色 >	□ コントラスト、ブライトネスの設定を確認してみてください。 □ 信号が入力されているポートをリモコンのRGBボタン /VIDEO ボタンまたは、ディスプレイの入力ボタンで選択してみてください。（→ p.29 参照）
< 黄色 >	□ コンピュータが節電モードに入っていませんか。マウス、キーボードを操作してみてください。（→ p.47 参照） □ 節電モードに入っていて他の信号を表示させたい場合はディスプレイの入力信号選択ボタンで切り換えてください。リモコンの場合は、リモコンの RGB ボタン/VIDEOボタンを押して電源を立ち上げてから、信号を選択してください。（→ p.48 参照）
< 黄色（ゆっくり点滅）>	□ リモコンスタンバイ状態に入っていませんか？リモコンまたはディスプレイの電源ボタンを入れてみてください。（→ p.29 参照） □ オフタイマーが設定されていませんか？リモコンまたはディスプレイの電源ボタンを入れてみてください。

◆ 画面に関する症状（パソコン接続）

症状	チェックポイント / 対処方法
1. 以下のような画面が表示される（この表示は約 45 秒間表示されます。） ● 信号が入力されていない場合の表示です。  	この表示はディスプレイが正常に機能していても、信号が正しく入力されないときに表示されます。 □ コンピュータによっては電源投入時に信号がすぐに出力されないため、左のような画面が表示されることがあります。 □ コンピュータの電源は入っていますか。 □ 信号ケーブルが正しく接続されていますか。 □ 信号が入力されているポートをリモコンのRGBボタンまたは、ディスプレイの入力ボタンで選択してみてください。（→ p.30 参照）
● 入力されている信号が周波数仕様範囲外であることを示す表示です。 例：  	□ グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な表示モードに変更してください。詳しくはグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。
2. 画像の位置が適正でない	□ AUTO ボタンを押して、オートアジャスト調整をしてみてください。 □ ＜ポジション＞調整で調整してみてください。（→ p.37 参照） □ ご使用のグラフィックスボードのユーティリティなどに画像の位置を変える機能があれば、その機能を使用して調整してください。
3. 画像の一部が表示されない / 余分な画像が表示される	□ ＜解像度＞で調整してみてください。（→ p.36 参照） □「実寸」サイズ表示する場合は、水平解像度が 1280 を超える信号、または垂直解像度が768を超える場合、画面が欠けます。他の表示モードを選択してください。
4. 画面全体がちらつく、にじみように見える	□ ＜フェーズ＞で調整してみてください。（→ p.37 参照）

5. 文字がぼやけて見える	□ <スムージング>で調整してみてください。 (→ p.38 参照)
6. 画面が明るすぎる / 暗すぎる	□ <コントラスト・ブライトネス>を調整してみてください。(→ p.37,38 参) □ BNC 入力の場合、<その他>の< BNC ターミネーション>が∞に設定されていませんか？ □ 複数台接続の場合に、75 Ω / ∞確認してください。 (→ p.50 参照)
7. オートボタン(オートアジャスト)が正しく動作しない	□ この機能は Macintosh や Windows など表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。DOS プロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合や、壁紙など背景を黒で使用している場合には正しく動作しません。付属の「ユーテリティディスク」をご使用ください。 一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。

◆ 画面に関する症状（AV 機器接続）

症状	チェックポイント / 対処方法
1. 以下のような画面が表示される(この表示は約45秒間表示されます。) ● 信号が入力されていない場合の表示です。 例：  	□ AV 機器の電源は入っていますか。 □ 信号ケーブルが正しく接続されていますか。 □ 信号が入力されているポートをリモコンのVIDEOボタンまたは、ディスプレイの入力ボタンで選択してみてください。(→ p.30 参照)
2. 映像が暗い	□ <コントラスト・ブライトネス>を調整してみてください。(→ p.40 参照)
3. 画面が正常に映らない	□ <信号選択>のオート設定を解除し、入力信号に合わせて設定してみてください。(HDTV 入力を除く) (→ p.40 参照)

◆ 画面に関する症状（全般）

症状	チェックポイント / 対処方法
1. 色がおかしい、画面が薄い、濃い、色がずれている	□ ＜カラー調整＞を使って色調整をしてください。（→ p.41 参照）
2. 残像が現れる	□ 長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えた時に前の画面の残像が現れることがあります。これはパネルの特性によるもので、別の画面や動画をしばらく表示すると解消されます。 （これで解消されない場合は、画面の焼き付きが考えられます . 画面が画面が焼きついてしまうと、完全に元に戻ることはありません。） □ 長時間同じ画面を表示するようなときには、＜オフタイマー＞機能（→p.44参照）、＜スクリーンガード＞機能（→p.45参照） の活用をおすすめします。
3. 画面に緑、赤、青、白のドットが残るまたは点灯しないドットが残る	□ これらのドットが残るのはプラズマパネルの特性であり、故障ではありません。

◆ 音に関する症状

症状	チェックポイント / 対処方法
1. ディスプレイから音がする。	□ ファンの回転音です。故障ではありません。ファンの音は周囲の温度が高いほど大きくなります。 □ 白べた表示などの電力負荷の多い画面を表示した場合、ジーッという音がします。これはプラズマパネルの特性によるものです。表示パターンを変更してください。
2. 音声入力を接続したのに音がでない	□ 本機はスピーカーを内蔵していないため、外部スピーカーの接続が必要です。（→ p.26 参照） □ 映像信号入力と、オーディオ入力の接続コネクタが一致していますか？ □ ミュート機能を選択していませんか？ □ ボリューム調整をしてみてください。 □ AV機器やパソコンから音が出力されていますか？

◆ その他の症状

症状	チェックポイント / 対処方法
1. ScreenManagerが起動できない **2. オートボタンが動作しない**	□ 調整ロックが機能していないか確認してみてください。（→p.46参照）
3. リモコンが効かない	□ 調整ロックが機能していないか確認してみてください。（→p.46参照） □ ディスプレイとリモコンのIDが一致していますか、リモコンのPort-Infoボタンを押して確認してみてください。一致していない場合には、リモコンのIDを設定してください。（→p.30,51参照） □ 本機の近くで電子点灯(インバータ)回路方式の蛍光灯を点灯するとリモコンが動作しないことがあります。蛍光灯から離してご使用ください。 □ リモコンのMOUSE/MONITORスイッチがマウスになっていないか確認してください。 □ リモコンの送信部をディスプレイの受信部（正面下側）に向けて操作してください。 □ リモコンに電池が正しく挿入されているか確認してください。（→p.14参照） □ リモコンの電池が消耗したのかもしれません。電池を交換してみてください。（→p.14参照）

第7章 お手入れ

本製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをおすすめします。

⚠警告

● **本機周辺に液体を置かない**

本体内部に液体が入ると火災や感電、故障の原因となります。万一、本体内部に液体をこぼしたり、異物を落としてしまった場合にはすぐに電源プラグを抜き、販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。点検、修理の必要があります。



液体を置かない

⚠注意

● **クリーニングの際は電源プラグも抜く**

プラグを差したままで、クリーニングをおこなうと感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜く

● **クリーニングの際には溶剤や薬品を使用しない**

溶剤や薬品（シンナーやベンジン、ワックス、アルコール、その他研磨クリーナなど）は、キャビネットやパネル面をいためるため絶対に使用しないでください。



使用禁止

● **電源プラグ周辺は定期的に掃除する**

ほこり、水、油などが付着すると故障や火災の原因となることがあります。



定期的に掃除する

キャビネット

柔らかい布を中性洗剤でわずかにしめらせ、汚れをふき取ってください。（使用不可の溶剤については上記の注意を参照してください。）

パネル面

- 汚れのふき取りには付属のクリーニングクロスをご使用ください。
- 落ちにくい汚れは、クリーニングクロスに少量の水をしめらせやさしくふき取ってください。ふき取り後、もう一度クロスの乾いた部分でふいていただくと、よりきれいな仕上がりとなります。

参考

- パネル面のクリーニングにはScreenCleaner（オプション品）をご利用いただくことをおすすめします。

第 8 章 仕様

パネル		50 型カラー PDP、視野角：上下 160 °、左右 160 ° 保護パネル付（反射防止フィルム）
ドットピッチ		0.858㎜（水平）× 0.808㎜（垂直）
水平周波数		31.5kHz ～ 94kHz
垂直周波数		50Hz ～ 85 Hz ノンインターレス (1600 × 1200 時は 75Hz まで)
解像度		1280 ドット× 768 ライン
ドットクロック（最大）		202.5MHz
表示色		1677 万色
表示サイズ		1098㎜（水平）× 620㎜（垂直）
電源		AC100V ± 10%、50/60Hz、5.2A
消費電力 節電モード リモコンスタンバイ		最小(通常): 500W，最大: 520W 5W 以下 1W 以下
映像信号		
INPUT1	BNC	同期信号形式： a)セパレート、TTL、 正 / 負極性
INPUT2	D-SUB 15 （ミニ）	b)コンポジット、TTL、 正 / 負極性 c)シンクオングリーン、 0.3Vp-p 映像信号: RGB アナログ、正極性（0.7Vp-p/75 Ω）
INPUT3	RCA x 3 Y/Pb(Cb)/Pr(Cr)	Y:1.0Vp-p （sync0.3Vp-p）75 Ω Pb(Cb),Pr(Cr):0.525Vp-p 75 Ω
INPUT4	RCA x 1 Composite video	1.0Vp-p/75 Ω （NTSC/PAL/SECAM）
	S terminal Y/C Separate Video	Y：1.0Vp-p/75 Ω C：0.28Vp-p（NTSC） 0.3Vp-p（PAL/SECAM）
音声入力	INPUT1 ～ INPUT4	L/R 500mVrms 入力インピーダンス 30k Ω
音声出力	ラインアウト	L/R 入力± 10% 出力インピーダンス 1k Ω
OUTPUT	スピーカーアウト	L/R 5W+5W 出力負荷 6 ～ 8 Ω
マウス *	OUTPUT1(BNC)	P/S2、USB ポート（シリーズ B）
OUTPUT	OUTPUT2(D-Sub)	P/S2、USB ポート（シリーズ B）
RS-232C 端子		ミニ DIN 8 pin
ビデオ信号メモリー		10 種
プラグ＆プレイ機能		VESA DDC 2B
寸法	（本体）	1233㎜（幅）× 727㎜（高さ）× 113.5㎜（奥行き）
	（スタンド付）	1233㎜（幅）× 757㎜（高さ）× 265㎜（奥行き）
重量	（本体）	47kg
	（スタンド付）	48kg
環境条件		動作温度範囲 0 ～ 40℃ 輸送･保存温度範囲 -20 ～ 60℃ 相対湿度範囲 30 ～ 80% R.H.（非結露状態）

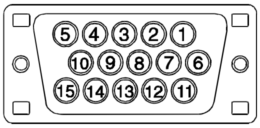
* リモコンをマウス機能として使用する場合にのみ使用します。

■ 主な初期設定（工場出荷設定）値

項目	初期値		登録
	PC信号 INPUT1,2	ビデオ信号 INPUT3,4	
・コントラスト	-	49%（HDTV:50%）	ビデオ信号のみ共通
・ブライトネス	-	47%（HDTV:50%）	ビデオ信号のみ共通
・スクリーンサイズ	フルスクリーン	フルスクリーン	入力信号ごと
・カラーモード	1	1	入力信号ごと
・パネルモード	PC1	ムービー1	入力信号ごと
・PowerManager	オフ	-	PC信号のみ共通
・ケーブル	1.8m	-	PC信号のみ共通
・スクリーンガード	オフ	オフ	PC信号、 ビデオ信号各1つ
・BNCターミネーション	75 Ω	-	BNCのみ
・マルチパネル	オフ		共通
・音量	オフ		入力信号ごと
・オーディオモード	ステレオ		共通
・オフタイマー	オフ		共通
・ID設定（ディスプレイ）	ディスプレイ＝1, リモコン＝1		共通
・言語選択	日本語		共通
・スムージング	VGA/SVGA=1，XGA=2， 水平解像度が1152の場合=4 SXGA(HDTV含む)=5,UXGA=3 YCbCr,Sビデオ，コンポジット=2		解像度ごと

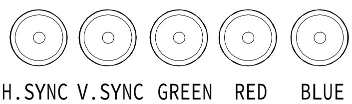
■ 入力信号接続

● D-SUB15（ミニ）コネクタ



ピンNo.	入力信号	ピンNo.	入力信号	ピンNo.	入力信号
1	赤	6	赤グランド	11	(10ピンとショート)
2	緑または緑＋コンポジットシンク	7	緑グランド	12	データ（SDA）
3	青	8	青グランド	13	水平同期または水平/垂直コンポジットシンク
4	グランド	9	／	14	垂直同期
5	／	10	グランド	15	クロック（SCL）

● BNCコネクタ

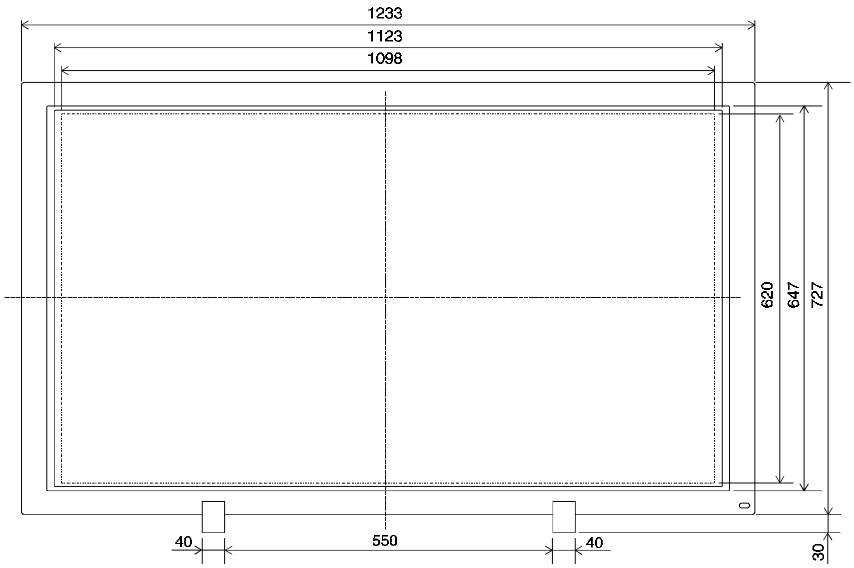


端子／入力信号	H.SYNC	V.SYNC	GREEN	RED	BLUE
セパレートシンク	水平同期	垂直同期	緑	赤	青
コンポジットシンク	コンポジットシンク	／	緑	赤	青
シンク・オン・グリーン	／	／	緑＋コンポジットシンク	赤	青

■外観寸法

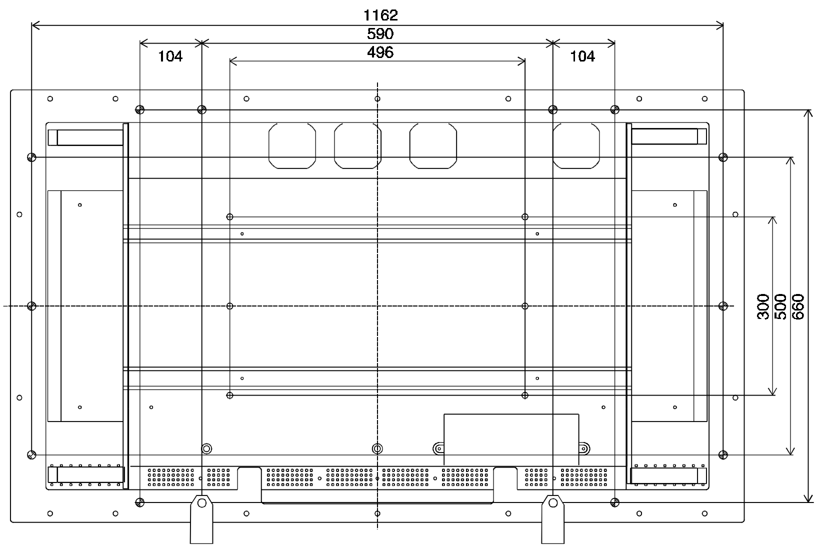
単位:mm

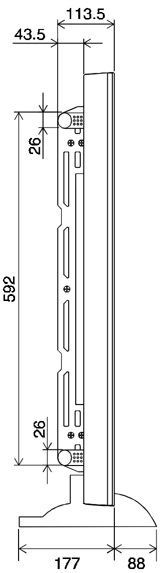
前面



側面

上面





8
仕様

第9章 用語集

アスペクト比

表示画面の幅と高さの比率のことです。通常のテレビでは、4:3、ワイドテレビ、ハイビジョンテレビでは16:9です。

EIZO MPMS

（EIZO Monitor PowerManager Signaling）
当社が採用している節電機能のことです。コンピュータからのビデオ信号を判別することによって、ディスプレイの消費電力を抑えるしくみになっています。

Sビデオ

色を制御する色信号と明暗を制御する輝度信号が分離している映像信号です。混成による表示品質の低下がありません。

解像度

プラズマディスプレイパネルは決められた大きさの画素を敷き詰めて、その画素を光らせて画像を表示させています。本機のパネルは横1280個、縦768個の画素が敷き詰められています。このため、1280×768の解像度であれば、画像は画面いっぱいに表示されますが、640×480や800×600などの低解像度の画像は画面の中央に小さく表示されます。また、入力信号の解像度が横1280、縦768を越える解像度の場合には、越えた分は表示されません。（表示可能な解像度についてはP.36を参照してください。）

クロック

アナログ入力方式のディスプレイにおいて、アナログ入力信号をデジタル信号に変換して画像を表示する際に、使用しているグラフィクスシステムのドットクロックと同じ周波数のクロックを再生する必要があります。このクロックの値を調整することをクロック調整といい、クロックの値が正常でない場合は画面上に縦縞が現れます。

ゲイン調整

赤、緑、青のそれぞれの色の強さを調整するものです。液晶ディスプレイではパネルのカラーフィルターに光を通して色を表示しています。赤、緑、青は光の３原色であり、画面上に表示されるすべての色は３色の組み合わせによって構成されます。３色のフィルターに通す光の強さ（量）をそれぞれ調整することによって、色調を変化させることができます。

コンポジット

色を制御する色信号と明暗を制御する輝度信号を1つに組み合わせた映像信号です。一般的なビデオ機器でよく採用されています。

コンポーネント

Y/Cb/Cr、Y/Pb/Prなど、色を制御する色信号と明暗を制御する輝度信号をそれぞれ単独に組み合わせて扱う映像信号の総称です。単に「色差信号」と呼ぶこともあります。

残像現象

長時間同じ画面を表示することによって、画面表示を変えたときに前の画面が残像として見えてしまう現象です。これはプラズマパネルの特性によるもので、別の画面や動画をしばらく表示すると解消されます。これで解消されない場合は、画面の焼き付きが考えられます。画面が焼きついてしまうと、完全にもとに戻ることはありません。

フェーズ

アナログ入力信号をデジタル信号に変換する際のサンプリングのタイミングのこと。このタイミングを調整することをフェーズ調整といい、クロックを正しく調整した後でフェーズ調整を行うことでクリアな画像が得られます。

VESA DPMS

(Video Electronics Standard Association - Display Power Management Signaling)
VESAでは、コンピュータ用ディスプレイの省エネ化を実現させるため、コンピュータ（グラフィックスボード）側からの信号の標準化をおこなっています。DPMSはコンピュータとディスプレイ間の信号の状態について定義しています。

第 10 章 さくいん

MEMO

アフターサービス

本製品のサポートに関してご不明な場合は、エイゾーサポートにお問い合わせください。エイゾーサポート一覧は裏表紙に記載してあります。

保証書・保証期間について

- この商品には保証書を別途添付しております。
- 保証書はお買い上げの販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、販売店の捺印の有無、および記載内容をご確認ください。なお、保証書は再発行致しませんので、大切に保管してください。
- お買い上げ後、保証書に付属している「１年間保証登録カード」に必要事項を記入し、保証書と切り離して必ずご返送ください。
- 保証期間は、お買い上げの日より１年間です。
- 当社では、この製品の補修用部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造終了後、最低５年間保有しています。補修用部品の最低保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、エイゾーサポートにご相談ください。

修理を依頼されるとき

- 保証期間中の場合
  保証書の規定にしたがい、エイゾーサポートにて修理をさせていただきます。お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご連絡ください。
- 保証期間を過ぎている場合
  お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご相談ください。修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- お名前・ご連絡先の住所・電話番号 /FAX 番号
- お買い上げ年月日
- 販売店名
- モデル名
- 製造番号
  （製造番号は、本体の背面部のラベル上および保証書に表示されている８けたの番号です。　例）S/N 12345678 ）
- 使用環境
  （コンピュータ/グラフィックスボード/OS・システムのバージョン/表示解像度など）
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

廃棄およびリサイクルについて

- 本製品の電子部品、プリント基板、金属部品等には重金属（鉛、クロム、水銀、アンチモン）、フッ素、ホウ素、シアン、ヒ素等が含まれています。ご使用後は、回収・リサイクルにお出しください。
- 本製品は、使用後に産業廃棄物として廃棄される場合、有償でお引取りいたします。最寄りの弊社営業所またはエイゾーサポートにお問い合わせください。